



発行・編集
東京若商会広報委員会
広報委員長 山田積次
TEL.03(5754)3040
FAX.03(3748)6102

「会報第20号の発刊を

祝して」

会長 本名 喜久造

(昭和四十五年卒・新二十二回)



会員の皆さまには、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素は同窓会活動にご参加、ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度を振り返ると令和2年度に引き続き新型コロナウイルスウィルス感染拡大となりその対応に追われました。恒例の6月総会を10月に延期して開催の準備を進めましたが、残念ながら集会する環境整わず、過去に例のない2年連続中止とせざるを得ませんでした。同様に予定していた同好会行事も殆ど中止

と致しました。また、母校創立110周年の記念すべき年でありましたが式典行事は1年延期となり、5月の本部総会も開催するに至りませんでした。

一方、その様な厳しい感染拡大環境でありましたが会運営上の取組課題には、役員諸氏の協力と「ビデオ会議システム」(ZOOM・ズーム)を活用して前進させることができました。

継続中も含めた着手課題は次の5項目であります。①学年幹事新規3名就任、②会報の内容充実(昨年からの取組中)、③ホームページの掲載内容の見直しとリフレッシュ(継続中)、④会則の見直し(昭和53年以来の全条文見直し) 役員会承認済み、⑤会計・経費立替処理の効率化(立替金明細書の制定)など。これらの案件見直し改善はこれからの会の運営・活動に寄与するものであり今後もしっかり進めて参る所存です。次に、本会報は平成14(2000

2)年に創刊し今回で20号となりました。これは誠に喜ばしく、また意義深いものであります。諸先輩の皆様にご敬意と感謝を申し上げます。またこの間、当会創立90周年(令和元年)には『90周年記念誌』を発刊するなど会員の絆を強めネットワークを拡充しています。さらに寄稿者を増やし紙面の充実を図り、次世代に継続発展させるためには、

ここで創刊時の本会報に寄せる思いや決意を再認識しておくことが大切であると思う次第です。創刊号の中から広報部発行編集責任者・佐瀬善彦氏(現常任顧問)の「編集後記」の抜粋を「紹介致します。会報にかける熱い思いと情熱が伝わってきます。『・・・次に向かって大きな一歩を踏み出すことができました。』

「全員参加の手づくり紙」をモットーに、相互の親睦と伝統を守り、更なる発展を目指し、次の世代に継承していく糧ともなれば幸いです。』

次に、今年度の重点取組課題です。まずは、新型コロナウイルス感染が収まり、安心安全に対面集会、会合ができる環境に回復することを祈念致します。

■今年度の取組課題■

①昭和50年卒以降、平成年代卒の会員拡大並びに学年幹事対策(在京者減少続く)

②今の時代にマッチした同好会同窓会の模索・具体的検討・実現

③ホームページを活用したネットワークづくり

これらは、当会維持発展に避けて通れない重要課題です。役員・本部同窓会を始め多くの皆さまのご協力・ご指導を得ながら取り組んで参りたい。

さて、原稿作成中の現在も「変異オミクロン株」による感染拡大が続く、この先収束の見通しが立たない状況にあります。昨年の後半には日本の政治の顔が「菅さん」から「岸田さん」に替わりました。丸2年に及ぶ新型コロナウイルス拡大で社会機能維持困難になる不安や国内外で暮らしの歪みが広がっているように思っています。『成長と分配の好循環』による新しい資本主義の下、景気・経済が回復してみんなが安心して暮らせる日常や、賑わいのある街になることを願ってやみません。

結びに、物故された恩師並びに会員諸氏の「冥福を心からお祈り申し上げます。また会報編纂に当たられた関係各位のご努力に衷心より感謝申し上げます。会員の皆さまのご健康と母校若松商業高校並びに当会の益々の発展を申し上げます。(2022/2/7記)



「会津鶴ヶ城ソメイヨシノ」

斉藤仁史(平成元年卒)提供

本号の目次は
31頁をご覧ください

「近況報告」

若商同窓会 会長 齋藤 共子



日頃より、東京支部の皆様方には、格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も、コロナウイルスの感染は衰えることなく、ほぼ全ての自由を奪い、ただただ空しい日が過ぎていくのが現実です。

例年の総会も、各支部の活動も無く、創立百十周年の記念式典さえも出来ず、残念の一言では済まされぬ、空しさだけが残されました。

しかし、二月二十八日無事同窓会入会式を迎えることが出来百五十二名のフレッシュな同窓生が誕生しました。例年と違い、コロナに振り回され、楽しいはずの高校生活も満喫できず修学旅行さえも中止となりました。

このような状況の中でも、目に見えない「若商の力」で一致団結し、対外的にもすばらしい成績を残してくれました。

今年の卒業式は、父兄は一人

ずつ、来賓無し、二・一年生はリモートでした。ただ、十数年ぶりに県知事が臨席されました。式典が終わり、卒業生全員が退場するまで、内堀県知事は拍手をし、見送られたのです。ささやかな、ステキなプレゼントでした。

今年度から従来の同窓会長賞の外に、同窓会特別賞を設けました(これは部活動を中心とし、東北・全国大会で入賞する等顕著な成績を収めた生徒・団体等)。一・二・三年、それぞれの年度で表彰する事としました。今年度は三年生だけでも十二名を表彰しました。少しでも同窓会を理解してもらえれば幸いです。同窓会の活動はストップのままでしたが、令和四年度こそは、十月には百十周年の式典ができることを願っています。希望を持ち、

又皆様方と一緒に同窓会活動に力を注いで参りたいと思います。一日も早いコロナの終息を願いつつ、これからもどうぞよろしくお願ひします。

「111年の歴史と伝統」

校長 佐藤 京治



会報20号の発刊おめでとうございます。東京若商会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素は母校の教育活動に對しまして心温まるご支援とご協力をいただいておりますことに、衷心より御礼申し上げます。

本校は、明治45年に開校して爾来、地域に根ざした高校として111年を迎え、2万2612名の卒業生を全国に輩出してまいりました。同窓生は、明治・大正・昭和・平成・令和の五つの時代に、全国各地で「名門 若商」の名にふさわしい活躍をされており、その歴史と伝統は盤石のものとなって

おります。今年は、来る令和4年10月8日に、昨年、新型コロナウイルスの影響で延期されておりました創立百十周年記念式典を予定しております。多くの方々に、現在の若商生の雄姿をご覧いただきたいと考えております。

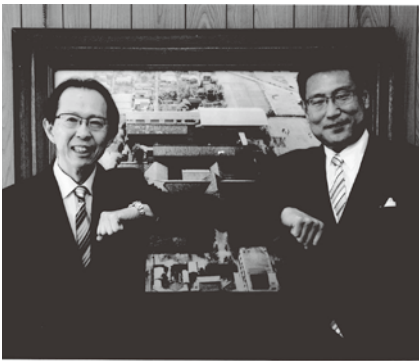
さて、昨年は、新型コロナウイルスの影響二年目となり、一昨年も同様、「例年通りの教育活動が行えるのか。三年生の進路は強烈な打撃を受けるのではないかと」と、とても心配されましたが、それらを微塵も感じさせない成果を残してくれました。進学も国公立大学合格、就職では、優良企業の内定・公務員合格と昨年を上回る結果となり、若商生のポテンシャルの高さを立証するものとなっております。

本校では文武両道の学校づくりを掲げ、生徒たちは勉強、部活動や学校行事に熱心に取り組み、111年の歴史と伝統の新たな1ページに名門若商の名をしっかりと刻んでいます。勉強・部活動では簿記研究部の全国大会第6位入賞、陸上競技部と柔道部、スキー部、コンピュータ部が全国大会に出場しております。また、商業科目の課題研究商品開発班が、本校OBでもあるホームベーカリーコピヤマ様の

協力を得て開発した、春夏秋冬ラスク(会津の食材を使用したお菓子)で、福島民報社ふくしま産業賞学生奨励賞を受賞し、若商生の活躍が際立った一年でもありました。学校行事では、公開文化祭の代わりとして行った動画コンテストで、各クラス・団体がクオリティの高い作品を仕上げ、プロのカメラマンをも唸らせる素晴らしい出来となりました。また、球技大会では、勝ち負け関係なく試合後に自然と沸き起こる拍手(ねぎらい)の渦、一・二年生がのびのびとプレーするなど、上級生の優しさや思いやり、寛容さを感じることができました。

地元の方からも、「今後も若商から目が離せない」と高い評価をいただいております、これからも社会に貢献できる人材を育て、若松商業高校の伝統を継承すると共に、新たな歴史を重ねてまいります。

結びに、東京若商会の皆様方には、「名門 若商」がさらなる飛躍ができますよう、これまで同様のご支援ご協力をお願いすると共に、会員の皆様方のご多幸、若商同窓会東京支部のますますのご発展をお祈り申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。



(卒業式後の内堀県知事(左)と佐藤校長)

「幹事長レポート No.3」

幹事長 五十嵐 健
(昭和五十年卒・新二十七回)

1. はじめに

東京若商会会員及び役員の皆様には、日頃から当会の運営にご理解ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

令和3年度は、2年度に引き続きコロナ禍による緊急事態宣言が発令されるなどにより、仕事や生活面に大きな支障をきたしました。

亡くなられた方、感染された方には、お悔やみとお見舞い申し上げます。3年度の総会・行事は2年度に引き続き中止となり、残念な1年でした。

役員会もほとんどネット会議でしたが、3年12月の役員会はコロナが落ち着いていたことから1年ぶりに上野精養軒で忘年会を兼ねて開催し、出席された皆さんと楽しいひと時を過ごされました。

4年度は、是非とも総会を開催し、皆様のお元気なお顔が見られたらと思っております。準備を進めております。

2. 学年幹事、会費納入者及び総会出席者数の現状等について

この資料は、4年2月の役員会に配布し現状及び10年後の状況について共有しました。各表のコメントのとおり、10年後は高齢の方が退会され、新規加入者がいないとした場合、学年幹事は48名から26名に、会費納入者は175名から79名に、総会参加者は151名から62名にと大幅な減少が見込まれます。

役員会では、50代60代へセミナーを開催、アンケートにより意識調査を実施、学校からの卒業生の情報は個人情報関係で困難であり同窓会名簿により声掛けをしていく等のご意見がありました。東京若商会の大きな課題であり、ここ2・3年が勝負の年と考えています。

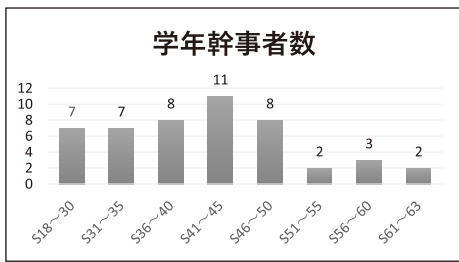
ある同窓会(会員が400から500名)では、総会の案内に会報も同封し活動内容の周知を図っているとのことであり一つの工夫と思っております。

会員の皆さまにも、新規の加入者の方策等がありましたら、お聞かせいただき当会の活性化を図りたいと思っておりますのでよろしく願います。

入会の方策等がありましたら、お聞かせいただき当会の活性化を図りたいと思っておりますのでよろしく願います。

学年幹事 (48名)

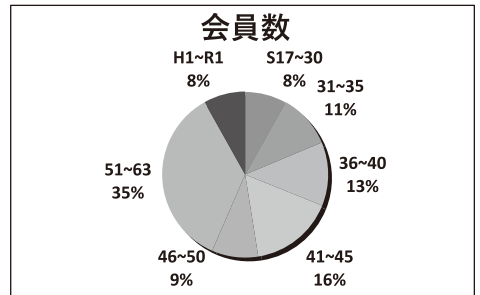
卒業年次	人数
S18~30	7
S31~35	7
S36~40	8
S41~45	11
S46~50	8
S51~55	2
S56~60	3
S61~63	2
合計	48



◎昭和50年卒(65歳)までの割合が85%。
10年後仮に40年卒(85歳)までを除くと26名に減少。
(令和3年度)

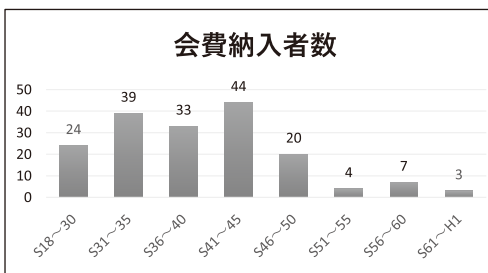
表1

卒業年度	会員数
S17~30	53
31~35	69
36~40	81
41~45	107
46~50	59
51~63	231
H1~R1	53



令和2年度会費納入者

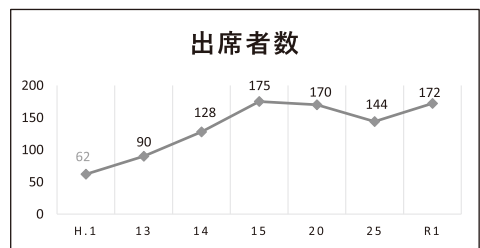
卒業年次	人数
S18~30	24
S31~35	39
S36~40	33
S41~45	44
S46~50	20
S51~55	4
S56~60	7
S61~H1	3
合計	175



◎昭和50年卒(65歳)までの割合が91%。
10年後仮に40年卒(85歳)までを除くと79名に減少。

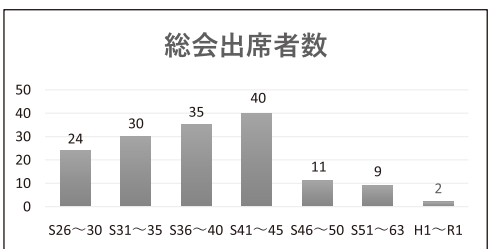
表2

年度	出席者数
H.1	62
13	90
14	128
15	175
20	170
25	144
R1	170



令和元年度総会出席者

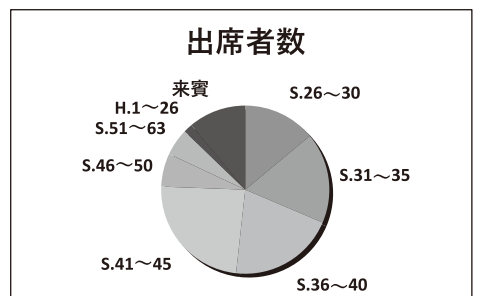
卒業年次	人数
S26~30	24
S31~35	30
S36~40	35
S41~45	40
S46~50	11
S51~63	9
H1~R1	2
合計	151



◎昭和50年卒(65歳)までの割合が93%。
10年後仮に40年卒(85歳)までを除くと62名に減少。
(来賓19名を除く)

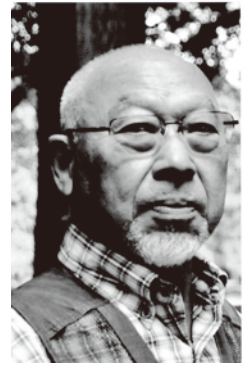
表3

卒業年度	出席者数
S.26~30	24
S.31~35	30
S.36~40	35
S.41~45	40
S.46~50	11
S.51~63	9
H.1~R.1	2
来賓	19



「老いの眩き」

元校長 菱沼 孝



人々の生活に重く伸しかなかった。新型コロナウイルスが、昨秋には感染数がかなり減少し、いよいよアフターコロナかとの期待が高まった。しかし、年明けからオミクロン株の市中感染が徐々に拡大、一月末には、今までにならぬ感染第六波の形成となった。長引くコロナ禍は、人々の暮らしに大きな影響を与え、高齢罹患者が最期を迎える数も増加の一途を辿っていると聞く。そんな中、小生は七十五歳を迎え、後期高齢者の仲間入りをした。振り返れば、六十歳代は、老境に入ったにも拘らず、老いを感ずることはなく、国内外のトレッキングに出向き、異文化に触れながら心身をリフレッシュさせ、健康であることの有り難さを感じながら生きてきた。しかし、新型コロナウイルスの発生後は、外出が儘ならず、旅行は国内外を問わず御法度。家籠りの

生活が長くなり、体力の低下、気力の減退を痛感し、老いの進行を実感している。

こんな弱音を吐けば、「人生百年時代」の世を、八十路、九十路へと元気に歩を進めている先輩方から「七十五歳は後期高齢の入り口、人生はこれからだ。」と叱られそうだ。だが、立ち止まって自分の周りを見渡すと、現世を後にした友人が少なくなることには気がかされる。「死期はついでを待たず。死は前よりも来たらず、かねて後ろに迫れり」(徒然草)の一文を思い出す。小生には、もう六十歳代の若さはない。明日亡き友の後を追うことになるかと、不思議でない年回りになった。人は、やがて必ずお迎えを受ける定めだが、小生には、今までその自覚が全くなく、まだまだ先のこと、と打遣らかしにしていた。だが、終息の見えぬコロナ禍や、自分の年齢を考えると、与えられた時間の少なさを肝に銘じないわけにはいかない。これまでの来し方が、これからも続くはずはない。正に「日暮れ途遠し、吾が生、既に蹉跎たり」(徒然草)の心境である。これを機に今後は、漫然と誘

いに乗って時間を費やすのではなく、己の意思を持って時を過ごし、後味のよい一日が得られるよう心掛けよう。アンチ・エイジングは脇に置き、老いを受け入れ、体力に合わせた行動を心掛けよう。ストレスの少ない日常を送るため、過去の誇りや品性に縛られず、世間の諸縁からも少しづつ離れて行こう。約束を忘れても気に病まず、新たな約束はしない。義理張ることは止めて、飾ることなく、質素に振る舞って行こう、と考えた。それにしてもこの歳まで、このような大事を勘考せずに来たことは、己の不明、懈怠に尽きる恥ずかしいことであった。しかし、気付いた時が事始めの好機ともいう。遅れ馳せながら、これからは、己の心ひとつに従い、残る時間を歩いて見たいと願っている。

てくれるのではないか。そして、やがて来る生涯に幕を下ろす時、「悔いのない良い人生であった。」と、後ろを振り返ることなく、旅立ちができるのではないか。そう在りたいものだ、と願ってやまない七十五歳になった老人の眩きである。

「日本経済の衰退を憂う」

恩師 石井 義次

オミクロン株が日本社会全体に深刻な影響を与えております。日本経済もオミクロン株に加え円安、原油高、原材料の高騰などで大きなダメージを受けています。ここで日本経済の現状について少し記してみます。今から40年ほど前のバブル期にはテレビなどの家電、電化製品、自動車産業など世界のトップでした。現在はどうかでしょう。バブル期の繁栄の面影はどこにも見当たりません。経済協力開発機構(OECD)の調査では日本が一番売上高が多かった自動車産業などの製造業は加盟35か国中00年は1位でしたが、18年には16位に後退しました。日本の稼ぐ力が弱くなっているので賃金

は当然上がりません。日本の平均賃金は20年の調査では42万円、35か国中22位、1位のアメリカは763万円、339万円の差があります。日本は貧しい低賃金国になってしまいました。企業の価値はどうでしょう。アップル、アマゾン、グーグルなどGAFAMと呼ばれる新興企業が世界の富を独占しているような状態です。1位のアップルは1月時点で2.8兆ドル(約345兆円)グーグル、アマゾンなども200兆を超えています。アジアでは半導体生産1位の台湾のTSMCが0.5兆ドルで10位、韓国のサムスンが0.43兆ドルで16位、日本でトヨタのトヨタは0.32兆ドルで29位。バブル期には世界のトップ10位内に日本の金融機関やNTTが入っていました。だからその衰退ぶりは信じられないくらいです。どうして日本経済はこのように後退したのか。バブル崩壊後設備投資に後れをとったり、デジタル化があまり進まず生産性が上がらなかったことなどがその要因であると言われています。時代は激変しています。その変化に対応する方策を考えないと日本経済の復活は難しいでしょう。

「コロナ禍の中での近況」

恩師 北田 キヌ子

東京若商会の皆様、日頃より若商同窓会には多大なるご協力をいただき本当にありがとうございます。

コロナの感染も終息が近いかに思われましたが、又、オミクロン株の感染で生活が、ガラリと変わってしまいました。そんな中でもややもやした毎日を送っています。いろんな行事が中止になってしまい、何をしても過ごしたらいいのかわかっています。

読書をしたり、ゲームをしたりしていましたが、最近目がかすんできたりしてあまり本も読んでいません。そんな中で何か楽しく過ごすことはないかと思っております。何年か前に湯川村で立ち上げた「ひよつとこ踊り」がありました。その「ひよつとこ踊り」の仲間から進められて入りました。初めのうちは「ひよつとこ踊り」などできないと思っていましたが入ってみると、けっこう楽しいものです。

一緒に入っている人達も皆さういひばかりで、ワイワイ、がやがやしながら練習をしてい

ます。「ひよつとこ踊り」のいい所は、面をかぶっている顔が見えない事です。体を動かすので、けっこういい運動になります。

コロナ禍に入る前は、いろんなイベントや村の祭りなどで踊っていましたが、今はあまり踊る機会がありません。あまり休んでばかりいると忘れてしまうので、今も感染防止を充分にして広いフロアで練習をしています。

「会津っていい所はいい所」「きよしのズンドコ節」等の音楽を鳴らしながら体を動かしています。いい運動になりますよ。皆様も何かやってみてほしいことを見つけてやってみてほしいかがで



しょうか。とにかく一日も早いコロナの終息を願い、又あちこちで踊れるようになればいいなあと思いつつ、頑張っています。コロナが終息したら、また、皆様にお会いできることを願っています。

東京若商会会報発刊20年目であるということですが、東京若商会の皆様が団結力と活動力に、本当に頭が下がってしまいます。

これからも皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。今年の総会が出来ますことをお祈りいたします



「わが里・猪苗代自慢」
(今あらためてこの地の豊かさを想つ)

若商同窓会猪苗代支部長

鈴木 清孝

秀峰会津磐梯山と猪苗代湖が一對で織りなす風景は最高の口ケーションと言えます。山紫水

明、風光明媚とはこんな風景を指すのだろうとさえ思います。

磐梯山麓には「磨上原の戦い」の地が佇んでおり、天正十七(1589)年の伊達政宗対草名義広が戦い、三忠碑が当時の様子を今に伝えています。又、戊辰戦争において会津戦争とよばれる「母成峠の戦い」は慶応4年8月21日に町中心地から東部に約20km先で激闘が繰り広げられました。昭和57年から母成弔霊義会が慰霊祭を行い、戦死者の供養を続けています。わが国の歴史に残る二大戦場の地でもあります。

会津初代藩主・保科正之公が祀られる土津神社は近年、四季毎の神社祭礼、春の桜、秋の紅葉時期には出店も加わり、大賑わいとなります。保科正之公の治世が今の時代に取り上げられる機会が増えており、大河ドラマ化実現に向け、関係者の署名活動も活発化しています。

平成28年4月には、我が町に開く日本遺産がダブル認定されました。祈りの里と称される「会津の三十三観音参り」と猪苗代湖からの豊かな水が郡山の発展を支えた事から「安積疎水と一本の水路」の2件です。関係

自治体と機関が連携し、その魅力発信に大いに期待されます。

当地には伝承文化の一つとされる貴重な「むかし話し」が数多く現在に引き継がれ語られています。厳しい自然環境下での人々の暮らしを支えてきており、継続の為に「いなわしろ民話の会」の会員の活動が続いています。当地の魅力をもっと多くの人に伝えたく、依頼主先に出向いています。

最後にもう一つ、我が町にはご当地ソングが3曲あり、自慢の種です。民謡で「野口英世」、歌謡文部省唱歌で「野口英世」、歌謡曲で「高原列車は行く」です。17時には町有線で「野口英世」が流れ、町役場の待ち受け電話では「高原列車は行く」が流れます。TPOを考慮し、今後も観光素材の一環として取り上げ続け、一町民として関り続けて行きたいと考えています。我が町の自慢話になりすぎ、食傷気味と言われるかもしれませんが、そこはご勘弁願ひまして、この辺でペンを置く事に致します。皆さんの故郷での再会が楽しみです。

会報20号記念

「会報創刊号を振り返る」

広報委員会

本会報は平成14(2002)年に創刊されました。この度20号発刊に当たって第1号を振り返って見ます。

第1号には当時の東崎会長の巻頭挨拶で、「東京若商会益々の発展に寄与するために、広く会員各位からの寄稿により会員相互の親睦と同窓生としての絆をより一層深められます」とを念じて「会報」を発刊する運びとなりました。

とされ、また、編集後記では、佐瀬編集委員長が「短期日で会員が作り上げた最初の記念誌として」

「相互の親睦と伝統を守り、さらなる発展を目指す」と述べている。

最初の記念誌として、会報編纂の苦勞が随所に見受けられる。特に、その原稿を集めることや印刷することなどの作業はとて大変だったと思う。本当に感謝に堪えない。

なお、第20号の発刊に当り、第1号の記事の中で、心に打たれたものを掲載し、次の世代に継承したい。

人生に掛け替えのないもの
(広報部)

それは、えにし(縁)であり、そしてきずな(絆)である。親子の(縁・絆)、兄弟の(縁・絆)、夫婦の(縁・絆)、同窓の(縁・絆)云々。互いに寄り添って協力する縁、綱引きの綱のように、糸を半分づつ持ち、協力して力を合わせる絆、糸が切れたらすべては終わる。



「会報発刊時の思い出」

元会長 室井 軍三
(昭和三十九年卒・新十六回)

今年で会報Vol.20を迎える。当初、佐瀬さんより次の世代に何か残さなければいけないと話があり、会報発刊の話となり、いいじゃないですかと答え会報Vol.1を発刊する運びとなりました。

当時の会長は東崎会長でした。会長も会津高校の会報を入手し、発刊にあらゆる面から力を入れていただきました。

初めての会報発刊の為、どこから手を付けてよいやら、まずは寄稿願いの案内、原稿の校正、校正は20人程で福島会館で執り行われた。佐瀬さんが読み上げ、周りの人たちは間違いがないか真剣に目を通し、現在のように何名かの方で校正するのではなく、大勢で校正をおこないました。

当時弊社の広告をお願いしていた広告代理店の電波広研に写植をお願いし、大きさもA4サイズではなくB5サイズで印刷され、皆様へ発刊1号が配られた。編集長の佐瀬善彦さんが編集

みんなの広場

「遠い昔と近頃の相違」

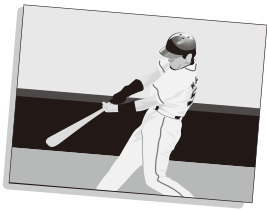
荒明 昌雄
(昭和二十七年卒・新四回)

高齢になると最近のことがすぐに思い出せなくて思い出す迄三十秒位掛かる事がある。その点昔のことは大体思い出される。例えば、スキー競技の福島県大会で猪苗代迄応援に行き、いよいよアンカーの出番で、新井田義友君の姿が見えた。しかしゴール近くで見失いましたが一着でゴール、結果は優勝でした。新井田義友君(逝去されました。心よりお悔み申し上げます)私事で大変恐縮ですが、昨年十一月区長さんから封筒入りの

手紙が届いたのでもう驚いて、恐る恐る開封してみた。米寿の誕生日おめでとう、「ごいまず。心からお祝い申し上げます」でした。

「還暦に古希、喜寿、傘寿、は当たり前、米寿、卒寿に白寿まで、笑う元気で過ごせたら生きてみようか一世紀」、まさに人生百年時代が対峙しております。

話題は変わりますが、昭和二十七年勤務先(社長の出身が会津若松)は住込み(山寺清二郎さんと一緒、野球部のキャプテン)でした。その勤務先の二階に大勢の人がいて一人の男が舞台上に立つ為の準備をしていました。そして会場につき出番が来て歌い始めたのが「赤いランブの終列車」でした。この曲が春日八郎のデビュー曲となりました。山寺清二郎さんはご逝去されました。心よりお悔み申し上げます。また、春日八郎は平成三年十月二十二日永眠されました。



「試練の時代を乗り越えろ」
飯田 清藏 (昭和三十年卒・新七回)

コロナ禍が長期化し、生活困窮などで不安を抱える人が増えており自殺者数の増加が顕著となるなど、孤独・孤立の問題は一層深刻化が危惧されている。孤独・孤立は誰にでも起こり得ることで「社会全体で対応しなければならぬ問題」と指摘されている。先の見通せない不安の閉塞感徐々に広がり社会全体に影響を及ぼしている。この危機の時代を生きるのに個人差はあると思いますが、大事な要諦をいくつか挙げてみたい。一つ目は人間関係です。よく人の悩み9割は人間関係と云われますが、良好なつながり、困っている時に手を差し伸べ合う関係、互いに支え合えるような関係を築き上げることが大切だと思います。苦しい時に寄り添い励ましの一言(ひとこと)が生き抜く力を与え、希望の未来を開いて呉れるからです。二つ目は適度な楽観的バイアスを持つている人。能天気とは違い、よりよい人生を送るための目標を揚

げ努力し続ける人のことであり、その達成に必要な自分の力を信じる人のこと。三つめは主体性の確立です。「桜梅桃李」の思想で一人一人を自分らしく輝かせていくこと。一人一人がいまだかつてない苦難に直面してはいますが、互いに励まし合いながら前進して参りたい。

「静寂」

小山 文美 (昭和三十年卒・新七回)

東京都心の世田谷区から小金井市に、越してきたのは、昭和58年でした。JR中央線武蔵小金井駅から歩いて30分のところ、自然に恵まれた土地で故郷の匂いのする所でした。

当時目についた建物は八幡神社、お寺の真蔵院の二棟位でした。もう少し範囲を広げてみると現在は病院、保育所、幼稚園、小中高と大学であり、教育環境も整っています。

さて、忘れてならないのは我が家の裏の緑の大地に囲まれた「都立小金井公園」です。昭和29年都立公園として開園、敷地

面積約ヘクタール、園内には雑木林が広がり、武蔵野の風情を色濃く残し、桜の名所としても、50種1700本の桜が来園の方々を楽しませ癒してくれま

す。さらに都立総合体育館には温水プール、バレー、バスケット、バドミントン、卓球、剣道、柔道等が出来ます。他にもサイクリングロード、多目的運動場、テニスコート等もあり大人も子供も楽しめます。又本物の蒸気機関車、客車も展示され、鉄道マニアや子供に大人気です。

尚公園の北側の一部を占める(敷地面積約7ヘクタール)江戸東京たても園については(現在30棟の復元建造物が並んでる)後日機会があれば話します。

令和4年も世界中に拡がるコロナに怯えながらの巣ごもり生活が続きますが、皆様の生活の変化はどうですか?私はこの環境の変化に耐えながら、生きる喜びを噛みしめ感謝して暮らしています。

近くでは新コロナ感染症拡大の影響で、数多くの施設、運動場が臨時休業の状態が続いてます。人々の憩いの場所である公園本来の使命が果たせるようコロナ収束を願っています。

最後にマスクなしで静かに、ゆっくりと公園を散歩したいと思っています。

「『コロナ発生』から

二年経過」

猪俣 信儀

(昭和三十三年卒・新十回)

会報発刊二十年大変お疲れさまでした。ご苦労を考えると、感謝申し上げます。

同窓会員の皆様も、コロナ禍の中お元気でお過ごしでしたか。同窓会も二年間中止で、皆様寂しい思いでお過ごしでしょう。コロナによる諸々のストレスを、発散出来ず、只々我慢、ガマンの毎日でした。

ある日突然コロナ発生により、世界中が一瞬にして、大混乱に陥った。国々の移動、交流、物流等、自粛制限により留学生、旅行他混乱した。感染防止薬の開発により、徐々に一時は下火になるかと、思われた。しかし、次から次と、新種のウイルス株が発生して、特にオミクロン株は、最大の感染者十万人を超えた日がある。福島県の田舎町でも、何故、感染者数が多いのか

と聞くと、東南アジアからの人々が、工場で多数働いているからという。個人商店、経営者に、トバッチリを受けた人達が沢山いると思います。また、学生の最高の『思い出』修学旅行、イベント、大会等の中止。冠婚葬祭の中止、ただ可哀想では片づけられないものがあつたと思う。日々の生活で、法等等で他県に行つて来たと言うと、ジム等は二週間休めという。他府県に行つて来て、皆黙つて、ジム施設に來ている状況です。正直者が馬鹿を見る。東京でも、サラリーマンが、自宅待機、満員電車での通勤、ストレスが膨らんでいたと思う。帰りに一杯も、時間、人数に制限あり。いろいろ規制している政治家は、高級店で、弁解しながら楽しんでいく。もし、自分が東京で仕事をしていたらと考えた時、仕事、コロナ、社員その他を想像すると、頭が混乱して来る。現在田舎でリハビリを兼ねて、ジムでのんびり過ごしているが、現在上京することは、自殺行為かなと思う。都会の人が来県することとは、殺人行為かとも思う。しかも、田舎でも病院の職員が感染した為、「明日のリハビリは中

止です。」という事実もあります。どこにいても同じかと思う。最終的には、自己管理、自己判断、自己責任ということですか。いずれにしても、今年はコロナの収束を祈り、三年ぶりの同窓会が無事開催されること心待ちにしたいと思います。そして皆元気に上野精養軒に集い、楽しい一日を迎えたいと思います。役員の皆様宜しくお願い致します。

「コロナ禍の生活」

芳賀 勇

(昭和三十八年卒・新十五回)

令和3年1月の老人会で、グランドゴルフを始めようとの提案があり「コロナでも密にならず外でやるのだからいいのではないか」で即決。そこからは大変。場所、用具、指導者等々。まずは徒歩3分の空地を53m×27mに整地し、火木土曜の9時30分から12時まで練習。それなりにうまくいったので大会に出てみないかとの誘いに参加することにした。「明神地区の方は一番前に並んでください」の放送で整列し廻れ右「よろしくお願います」でリーダーをする事にな

った。何処からスタートか、何をするのか全然わからず成績は散々であった。5回目の大会では130名位の選手で我がチームのNさんが個人2位、団体3位(各チームの上位3名の合計スコアで順位が決まる。もちろん私も入っている)。賞品はミカン1箱、他チームから明神地区はス、ゴイとの話で大盛り上がり。そんなこんなで、月水金曜は10kmのスロージョギング、火木土曜はグランドゴルフの今日此頃です。(現在はまん延防止等重点措置の発出で中止) コロナが早く収束し若商会で元気に皆さんにお会いできる日を楽しみにしております。

「私の会津暮らし」

五十嵐 和雄

(昭和三十九年卒・新十六回)

先ずは発刊20号おめでとうございます。令和元年9月30日、住み慣れた町田市に別れを告げ、会津若松に引越して来ました。場所は、母校若商、鶴ヶ城に近い西年貢です。(旧門田町) 最寄り駅は西若松です。

早くも3年目に入り、私も喜寿を迎えます。4月末高田の宮川に行くと、コゴミ、ふきのとう、タラの芽がとれます。5月半ばには、昭和村に行きジャガイモの植え付けをします。ついでに山へ行きゼンマイ、山ウドの収穫。6月に入ると蕨の収穫。沢山とれます。7月只見川の源流玉川でイワナ釣り忙しい日々を送っています。又秋には、紅葉を愛でながら大根、白菜の収穫と忙しいけど楽しいです。

一安心です。今年の会津は雪が多くて大変でしたが、昨日あたりから春の気配が感じられるようになりました。早くコロナが収まって、会津に來られるように祈るばかりです。会員の皆様のますますの健康をお祈りして、近況お知らせ申しあげます。

「腰痛再発」

山田 積次

(昭和四十四年卒・新二十一回)

昨年は坂下に畑を借りて、トウモロコシ、スイカ、ナス、キウウリなど沢山作りしましたが、トウモロコシだけはイノシシにやられ全滅でした。スイカは大豊作でした。味も抜群。若松から坂下の畑までは、30分かかりますが、磐梯山を眺めたり、水田の白鳥(秋口)を見ると疲れが吹き飛びます。

同窓生の皆さん！ お元気で。新21回の山田です。1月15日過ぎから、オミクロン株が猛威を振るいはじめました。昨年1年間は、2度の「緊急事態宣言」や「蔓延防止措置」(以下蔓延)が出されたことで、日常の行動(不要不急の外出)が制限されて来ました。私は前号(19号)でもお知らせしたとおり、2年前に腰部脊柱管狭窄の手術をし、腰椎を広げましたが、1昨年(2020)の12月中旬頃から、手術した腰椎下部にヘルニアが出来左足に激痛が走り、歩けなくなつてしまいました。治療を行い、

2月末になって歩行が出来るようになった。しかし、ホツとしていました。昨年(2021)11月に、また、左足首と足に激痛が走り始め、12月は、まだ足を引けずりながらも散歩することができましたが、本年1月の年明けには、左足首に奔る激痛のため、全く歩行できなくなり、再度の手術を含め、治療法を検討中です。歩けないので、仕方なく、毎日、テレビのオミクロン株の感染者数を確認している状態で、本当にうっとうしい気持ちで一杯です。

現在、「蔓防」が31都道府県に発令されております。同窓生の皆さん、不要不急の外出はお控え下さい。3回目のワクチン接種を早急に受けて下さい。今年は総会が実施されることを祈念するとともに、皆さんの元気な顔を待ちます。(2月1日記)

「NONO(令和4)年2月吉日」
 本名 喜久造
 (昭和四十五年卒・新二十二回)

同級生の皆さんお元気ですか？
 2020年2月からの新型コロナ感染が現在6波まで拡大し、先

行きまだ不透明です。

45年同級会も2年続けて開催できず誠に残念です。はや、我々も古希も『すうくと』通り過ぎました。歳は一日たりとも待たせてくれません。市民マラソンランナー強靱だった本名君も健康診断書に「経過観察軽度の異常」などと記載されるようになり健康を改めて意識しています。また、現在東京若商会の代表(会長)として大役を担っており3年が過ぎました。同窓会の維持・発展のため良い形で次の世代の後輩に引き継げるよう平素から苦慮・活動中です。我々より一世代若い若商同窓生の紹介な



どにご協力ください。よろしく!!
 令和4年は、是非ともみんなが集まって、旧交を深めたいと思います。それぞれ健康管理には万全を期して楽しく過ごしていきましょう。

【写真のコメント】

2019(令和元年)6月東京若商会創立90周年記念総会(上野精養軒)にて。昭和45年同級生18名出席(大テーブルを設営し盛り上がる)

「コロナ禍における近況」

小林 謙二

(昭和四十八年卒・新二十五回)

令和三年八月十日から二十一日まで三週間入院しました。朝七時頃、何の前触れもなく突然、胸の圧迫感と背中の中の急激な痛みが襲い、特に背中の痛みは息が出来ない程でした。救急車を呼んでもらい、救急隊員の方が症状を見て心臓系の二つの病院を割り出し、最初の病院に連絡し受け入れOKが出たので、直ぐに向かうことが出来ました。救急隊員の話ではコロナ禍の中、受け入れ病院が見つからず、救急車の中で二〜三時間も待機させられることもあるそうです。

病院に着くと台車に乗せられCT検査のため、検査室に向かう途中で、もし万一の事があつた場合の書類と入院や手術の承諾書に署名しました。CT検査の結果は急性大動脈解離。心臓から出た大動脈は、上に向かい肩を経由し下に向かいます。大動脈の血管の太さは二〜三センチ位、血管の壁は内膜、中膜、外膜の三つの壁から出来ており、今回肩から下に向かうところの血管の内膜に二十センチ位の亀裂が生じたが、自己防衛反応で血液が凝固して内膜の壁を守っているもので、手術は必要ないとのことでした。血圧を下げる薬と痛み止めの薬を飲んで当初二週間退院の予定でしたが、途中で院内感染が発生し、病棟閉鎖となり二回のPCR検査で陰性が確認できた段階で退院となりました。今は塩分控えめの食事を心掛け、毎日の血圧測定が日課となっています。

今振り返ると、生活習慣病の怖さと健康の大切さ、何でもない平凡な日常のありがたさを改めて実感致しました。
 一日一日を大切に生き、感謝できる日々でありたいと思っています。

「コロナ禍における近況」
 ～地域に貢献～

根本 文昭

(昭和五十年卒・新二十七回)

コロナ禍でどこにも出かけることができず日々が続いているが、何か楽しいことはないだろうかと考えていると、友人から地域に「貢献」したら、と助言をいただいた。話を聞くと、コロナ発生前に旅行したことを本にまとめていたが、そのことを「キタガク」で話してくれとのことだった。北本市市民大学きたもと学苑「キタガク」は市民が講師や受講生となって、100以上の講座が1年間で前期と後期にそれぞれ開講されている。

そこで、昨年10月と11月に6回に分けて「キタガク」で「中・東欧7か国、主な世界遺産とその周辺を巡る」と題して講座を開いた。私の講座には13人が受講し、ささやかながら地域貢献ができた。

中欧はオーストリアで、東欧はポーランド・スロバキア・チェコ・ハンガリー・ルーマニア・ブルガリア(十東ドイツ)の7か国とした。86日間かけて各国の主な世界遺産を見学してき

ていたので、拙著『還暦オヤジの放浪ひとり旅』では掲載できなかった写真をパワーポイントで紹介しながら「旅をした」（拙著は受講生に献本した）。

時には世界遺産ではないが、歴史の大きな流れを見つめていた建造物にも触れた。東欧革命の先駆けとなったグダニスク（旧レーニン）造船所、汎ヨーロッパ・ピクニックの場所、ベルリンの壁崩壊のブランデンベルグ門（1993年歴訪時の写真を使用）、いわゆるビロード離婚が行われたトウーゲンハット邸（世界文化遺産でチエコとスロバキアが分離独立の調印式を行った場所）、チャウシエスク大統領が最後の演説を行った旧共産党本部の建物など、世界遺産とはよそ道にずれたが、東欧革命の流れを写真で垣間見ることができた。

最後の講座でアンケートを行って受講生の感想を聞いた。全員が「期待通り」だったと回答してくれた。また、馴染みのない東欧諸国を地図で確認でき、美しい世界遺産を見ることもできて良かった等の感想も寄せてくれた。そして誰もが早くコロナが収束して、自由に旅行ができることを願っていると話してくれた。

今年の前期も5月と6月に「旧ユーゴ&アルバニアの主な世界遺産とその周辺を巡る」と題して第二弾を行う予定である。「世界の火薬庫」をどう旅行するかを考えながら、コロナ禍の生活を楽しくしている。今年も微力ながら地域に貢献できることを期待している。

「近況について」

五十嵐 健

(昭和五十年卒・新二十七回)

昨年11月末で約7年務めた関東めつき健保組合を退職し、現在は家事・介護（老犬）を担当し、また、週1回程度トレーニングジム・ボーリング・ゴルフの練習等を行っており、教養（今日行くとところがある）・教育（今日行きます）。

健保組合では、加入員（被保険者・被扶養者約1万人）への保健事業、特に健診の受診率向上に取り組みました。健診は「自身の健康チェックの最大のチャンス」であり、生活習慣病やがん

の早期発見・早期治療につながります。

健診率向上対策の思い出に残っているのは、健康企業宣言「銀」認定事業所の加入員が出産した場合、1人につき祝金20万円を支給、理事長交代時に小池東京都知事から直筆で「めっき業界の発展は加入員の心と体の健康から」とのメッセージをいただいたことです。

会員の皆さまには、毎年検診を受診していただき健康で元気にお過ごしいただきたいと思います。

「民謡 会津磐梯山」

根本 美希

(昭和五十六年卒・新三十三回)

六歳から民謡のお稽古を始め、若商時代も学業と共に民謡をやって参りました。同じ放送部の同級生の男子に「民謡、民謡って食っていけねえべ」と言われ、

咄嗟に「食ってやる」と返した時の彼の顔を今も思い出します。一瞬で自分の道を決めた瞬間でした。負けず嫌いのわたしらしいと笑いができます。それから、ずっとわたしの身

体の一部となっていた民謡。

“会津磐梯山”はわたしの代表曲としてどんな時もどんな場所でも唄ってききました。それが、普通の事だったので。それが、このコロナ禍で一変。

声を出すことが憚られ、人とかうことさえ控えなければならぬなんて。

未曾有の東日本大震災の悲しみや、この新型コロナウイルス感染拡大と何と混沌とした時代に生きてしまったのだろう。しみじみ思います、普通がいいなあ。会津へ帰るとき、行きはワクワク。帰りは少し寂しい気持ちになります。

列車や車から磐梯山を見ると“負けるなよ。がんばれ！”と背中を押されるのはわたしだけではないと思います。

また皆さまと一緒に、笑顔で“会津磐梯山”を大きな声で唄い、踊れる日が早く来ることを祈っております。



東京若商会推薦・特約 **ニューキプロス**

グルメ
ドリンク
カラオケ

千代田区外神田
6-6-9
電話
03-3831-5030

福島旬のモノを販売！魅力を発信！

日本橋 しま館
M I D E T T E

〒103-0022 東京都中央区日本橋4-3-16
柳谷大洋ビル1階

営業時間／平 日 10:30~20:00
土日祝日 11:00~18:00
TEL03-6262-3977 FAX03-6262-3978

特別企画

〈テーマ2〉これだけは絶対
お伝えしたいこと

「若商創立百周年記念のこと」

恩師 二瓶 哲

会報発刊20周年の節目を迎えられて大いに喜ばしいことです。同時に若商創立百周年にも入るので、あれから十年前の百周年の頃を思い出してみました。

あの年の三月十一日には東日本大震災が発生して、募金活動にも影響が及ぶとの思いから記念事業の見直しが迫られて、会館を鉄筋コンクリートから鉄骨造りに変更せざるを得なかった。そうしたことから私たちの同級生には百周年の記念事業には特段のご支援をお願いしてきたので、記念式典に参加される東京方面からの方には前泊されるよう呼び掛けたところ、何と東山温泉に23名も集まることになった。

ここから先は私的なことも重ねながら顧みる。折しも私の長女が初産の為に里帰りをしてお

り、十月七日(式典の前日)の午後に検診に向かった。私が一時間程駐車場で待っていると、妻からの電話で、お腹の子供の心音が異常なので福医大の先生にもこれから診てもらおうが入院することになるので娘の着替えを取りに家に戻りたいと言ってきた。既に時計は二時を回っていた。三時には宿泊する同級生の受付をしなくてはならないので、妻にはタクシーで用を済ませるよう指示し、私は直ちに東山温泉に向かった。

夕刻四時に私の息子から姉が分娩室に向かったとの電話があった。六時から前夜祭の祝宴が始まった。再び息子から電話が入る。臨月まで待っては子供の命が危ないので、無理に出産させたようだ。女の子だった。

地元の病院での治療は無理なので、東京の病院に引き受けてくれる所を捜す。決まれば医療ヘリを要請して搬送する旨知らされる。

私は酒に酔う間もなく、風呂にも入らず朝を迎えた。いよいよ若商創立百周年記念式典に臨む同級生を風雅堂に案内し式典は無事終了した。会場を移して

祝賀会が始まった。私は乾杯の音頭までいければ裏方の役割もここまでと娘の待つ病院へと向かった。

本来なら宴会の席で、遠くから参列してくれた同級生や世話になった方々にお礼の言葉を述べるところだが、述べてに会場を後にしたので、車の中で済まない感情が高まっていった。

あの頃のことを家族で話題になると私は心穏やかでなくなる。孫娘は計六回もの大手術にも耐えて、現在小学二年生となり元気に学校に通っている。このことは何より嬉しく、安堵の思いから微笑みしきりである。

十年が経ち再び大波乱の年に一年遅れての若商創立百周年

記念式典前泊のご案内

皆様には大変お世話になります。若商創立百周年記念式典前泊のご案内です。

若商創立百周年記念式典は、平成23年10月7日(土)に於いて開催いたします。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。

式典当日は、朝早くから会場に向かいます。式典当日は、朝早くから会場に向かいます。



若商創立100周年式典前夜祭 平成23年10月7日 於くつろぎ宿 新滝

の事業が予定されている。新しい会長の前で成功するよう精一杯応援したいと考えている。



若商剣友会

会長 鈴木 泰男

〒965-0865 会津若松市川原町2-12(森浜製麺所内)
事務所 TEL・FAX 0242-27-5031
携 帯 090-1490-2927 森山亮一

上野精養軒

ご宴会・ご婚礼・レストラン



上野公園内
☎(03)3821-2181(代)
www.seiyoken.co.jp

自由投稿

「故郷が舞台となった名曲」

鈴木 公毅

(昭和二十九年卒・新六回)



会社在职時は、関連先との付き合いや社内での親睦などもあってゴルフの機会が多く趣味となっていた。退職後、前歴の知識を生かす仕事に就き時間に余裕が出来たので、旅先で挑戦した沖釣り、釣果があまり面白かった。それが刺激で好きになり、仲間と週一回のペースで狙う魚を決め関東4都県の沖へ出かけていた。10年程続け体力の衰えから船から降りた。今は、庭木の手入れ、家庭菜園、将棋、音楽鑑賞などでのんびり過ごしている。

先般、BS朝日で「いい日旅たち」を視聴した。
作詞・作曲 谷村新司
歌手 山口百恵

冒頭の「語り」で旅先の説明があり、なんと大沼郡三島町早戸だった。続いて、写真家のピュースポットとして人気のある「只見線の第一橋梁を走る列車」と「只見川沿いに並ぶ赤や青のトタン屋根の集落」が映った。

聞き終わり、懐かしさがよみがえり歌詞から故郷の人達の温かい気質が浮かんできた。只見川の源流は尾瀬ヶ原、尾瀬を代表する「夏の思い出」がある。

作詞 江間章子

作曲 中田喜直

昭和13年に「国立公園特別地域」に指定されたが、あまり人が訪れなかった。昭和24年NHKラジオ歌謡で放送され、瞬間に日本人の心をとらえ、尾瀬の人氣は飛躍的に高まった。今でも衰えることなく歌われ親しまれている。

また、我々が母校を卒業した昭和29年、その時に大ヒットしたのが、作詞 丘(おか)灯(と)至夫(しお) 作曲 古関裕而

歌手 岡本敦郎「高原列車は行く」だった。鉢山の硫黄を運ぶ「沼尻鉄道」(昭和43年廃線)で、ここが舞台など関心無く当時口ずさんでいた。作詞・作曲家とも本県出身であるため、今でも

福島駅の在来線ホームで発車時このメロディが流れる。

「白虎隊」、「荒城の月」、「会津磐梯山」の他にも名曲が多いのは故郷の誇りと思う。

早くコロナ禍が収束し東京若商会が開催され民謡「会津磐梯山」で全員輪になって踊れる日が来ることを待ち望んでいる。

『Hi show me』

「何故・どうして・対策は?」

酒井 繁

(昭和三十一年卒・新八回)

去る2月15日(火)、本名会長から電話を戴いた。「準備されていると思いますが、原稿締切は2月28日ですから宜しく。」毎年締切りぎりぎり山田副会長に大変迷惑をかけているので「ハッ」とした。この時期、固有の業務を含め、各ボランティアの諸日程で、時間の余裕があまりない時期でもある。

会報は20号と成人式を迎え、感慨無量である。関係各位の熱意と努力の為せる賜である。会報は同窓生に開かれた有意義なコミュニケーションであり、手法でもある。19号から紙面構成

も5つのジャンル区分他、種々の創意が施され、見易く、寄稿者、読者共に意識の変革が読み取れて素晴らしい。

さて、この度、世界のニュースを「日本人は何も知らない・3」谷本真由美著(以下「谷本」と云う)を面白く読んだ。「何故・どうして?成程!!」を日本の現状に對比し、主観的な思いに重ねて楽しんだ。

谷本シリーズ3の選理由は、①谷本のWideやwidthさが、私の日頃の「何故、どうして?」を洗浄し、一定の示唆を与えていること。②私は神奈川県在住60年になるが、谷本も同県出身で風土の親しみを感じたこと。

③元国連職員、シラキユス大学大学院で、国際関係論及び情報管理学修士を取得し外資系金融会社を経て、現在はロンドン在住、日本、英国、米国、イタリアなど世界各国で就労経験をしていること等による。

ところで、表題に係る私の近時の関心事は次の様である。国内の問題では、①3年に及ぶコロナ問題を始め、国の政治、経済、財政、防衛、外交等の全般的な停滞感と行政劣化への危惧、②国民の政治に対する期待

と信頼性如何、③例えば、世界に占める日本のGDPシェアは30年前の18%から6%程度に低下し、経済協力開発機構によれば、平均賃金も30年にわたり低迷し先進国で最低レベルとされ、1億総貧困化なる報道。対する政府の説明責任如何?。政府が掲げる新資本主義とは?

即ち、具体的ビジョンが国民に見えていない様に思われる。評論的で実践力が欠如していないか。また、マスメディアは、国民のニーズに十分対応しているか等への疑問である。

海外の問題では、①北朝鮮のミサイル、新疆ウイグル人の人権侵害、ロシアのウクライナ侵攻、加えて北京五輪の中国、ロシアの政治介入疑惑、英米の人的種差別暴動、カナダ、アフリカ、欧州でのコロナ接種・マスク反対デモ、さらに世界的な石油・ガソリン高騰と物価上昇リスク、異常気象による干ばつや洪水等の自然災害等々数えれば切りがない喧嘩な日々が続いている。これらの解決責任と取組は、国も民も如何にすべきか。国際諸機構の機能と役務遂行は十分か。政治家の責任は重い。リベラリズムな指導力のある世界の

校長と厳正中立な世界。警察署長が不在の中で、2月24日遂にロシアは、ウクライナに軍事侵攻を開始。国境を接する東欧諸国にも軍事の脅かしが強まれば大変。東シナ海や台湾海峡等アジアへの影響も警戒が必要だろう。さあ、日本の対応は？、現地邦人の避難策にアフガニスタンの失敗は許されない。世界が懸念していた重大な事象の発生だ。

2月25日、日経新聞朝刊には「1945年以来、80年近くにおよんだ「戦後」は終わってしまった。…制裁だけでは戦争を止められないことも、今日の重い教訓だ。」と報道。

かかる現況化でちよつとそぐわないが、ロシア国旗の3色に触れておく。ボーイスカウトBS課程の選択課題に世界友情章があり、6項目構成の一つとして「15か国以上の外国旗及び5種類以上の外国スカウト章」を見分ける課題がある。白青赤の色が並ぶロシアの国旗は、17世紀末のピョートル大帝時代の設定説が強く、旗の白はペラルーシ人、青はウクライナ人、赤はロシア人を示している歴史背景がある。

2月26日、前掲同紙「春秋」欄に、胸打つ記事を拝読。「人びとを愛してほしい。不幸なウクライナ人のために、神に祈りを捧げてほしい」(藤井悦子訳)。19世紀、反ロシアを理由に弾圧されたウクライナの国民的詩人シエフチェンコの一節である。同感!!ウクライナ人民の平和な日常回復のため、戦闘の早期終結と大国間の国際調和の英断を切に強く望む。

ところで、表題と趣を若干異にするが、私に残された近未来の「何故、どうして」に係る夢と挑戦を極短に記して見たい。まずは、妻に心から「感謝」の二文字を残したい。私の自分らしくを盾にした日常を静かに支え続けている。そばに共感してくれる人がいれば、先の短な近未来にも夢は膨らんでいく。ボーイスカウト横浜倶楽部役員各位は皆人生100年の各夢を語っている。東京若商会の皆様との出会いも大切にしながら、近未来を「どうせ」と思わず、「そうか対策は」と挑戦の積み重ねを続けて行きたい。例えば、①自然科学の天文分野はロマンと習得に刺激がある。因みに記せば、国立天文台や国際研究グループ

による「モンスター銀河」の観測、「宇宙1400億年と宇宙の最後、冷えて真っ暗、ビックルの話、宇宙航空研究開発機構の探査機「あかつき」による「金星の」超強風の謎解明に挑む話」等々である。②これまで続けてきた3か国語の復習とその国々の歴史概要の学習。加えて、途中休学の他の国も復活させたい。実現可能性如何。挑戦あるのみ。何故ならば、かつて若き時代に体験した多くの海外出張時の刺激と感銘の思い出が、自己の近未来に更なるスキル・アップの輝きを求めているから。だが、この学び直しの熱意が線香花火の搭火点がパチパチと輝いて消えるが如くにとか、二兎追うもの一兎も追えずと、揶揄されぬよう心して過ごすことを約して、拙稿を終える。



「待ち惚け」

杉原 光男

(昭和三十三年卒・新十回)

ワクチン接種を受けると心に決めたのは三月で、申込日は五月。待ちに待ったその日が来ました。電話番号・確認「ヨージ、朝一番で発信する。受話器は「ジー」・「ジー」・「ジー」と鳴り放し。二度目発信も「ジー」・「ジー」、こりずに三度、四・五・六と繰り返す。根気薄れて午前中部を打ち切る。あきらめない。今度こそ、願いを込めてコツ、コツの午後発信。時は過ぎ、結局、難局、不適・がつくりの初日。明日がある。

気を取り直した二日目、10時発信。只今大変混み合っており。担当部署におつなぎします。接種日を決めた。「やった」。その後、広報誌、接種会場を記載。ホームドクター・身近になりました。

- 一回目 令和3年6月26日
- 二回目 令和3年7月19日
- 三回目 令和4年2月8日
- 「4回目ありますか?」、ドクター「わかりません」

その二 一階ロッカー

三階のロッカーを使用しております。途中の踊場では、「フウ」「フウ」することもあります。その上の八段が胸突き八丁で、この前、ふらつき、手摺・驚掴み。「大丈夫ですか。」の一言あり。気落ちしてがつくり。「時」が来たか?そんな折りにロッカー移動の知らせあり。

「二階の空ロッカーは、永い間使っていません。狭い所です。「笑顔のひとつ返事。」通りが狭い分、使用を止めていた。もつともなこと。ルン、ルン気分がふさがればなし。「慣れるより慣れる」

その三 無事は便り無し

若松在所。俺、お前の間柄、限り有る同級生ひとり。今年限りでよろしく、のお年賀。チョコッピリ寂し。私もその昔に着信待ちした年とありました。

秋に、返信欲しいと往復はがきが届いた。思わぬ「プレゼント?」小さな親切、大きなお世話。便り無いのは良い便り。

その四 十回生

幹事が閉める。「この飲み会で打ち上げ。これきりですか?」

それきり、「知らせ」、「便り」、「集まり」、なし。
偶の東京若商会総会前触れ、寄稿依頼は楽しみ、苦しんでおります。

寒中の籠り生活で進んでの外
出は「ホームドクター」・眼科
・散髪。と「スーパー」の買い物ツアー。炬燵がいい。TV・新聞・昼寝してテイタイム。入浴して晩酌とかかさずに。すっかりはまりました。あといくつ寝たら、桃の節句にひな祭り。



「日本人は世界で一番

『ハワイ』が好き」

青山 典

(昭和三十四年卒・新十一回)

こんな記事がネット上で流れていたのを翻にしハワイ大好き
の私は?と思ひ纏めてみました。
その前に私とハワイのかかわり
は(今から49年前会社の米国流
通研修旅行がありその帰りに寄
ったのが最初でした。今回この

原稿を書くのにあたり思いだし
ながら数えてみたら24回行って
おり自分でも驚いております)

*ハワイの観光者数(ハワイ州
観光局)2018年 全体983
万人

1位米本土から631万人 2
位日本人157万人(97年222
万人) 3位カナダ人57万人
(お隣韓国人は23万人) 日本
人がダントツですね。

*私なりにハワイの魅力を考え
ますと(日本から近く米国を感
じられる、気候が年間サワヤカ、
日本語もOK、治安も安定、自
然環境、ショッピング、毎年新
しい発見、のんびりした雰囲気、
以上誰と行っても何歳でも何回
行っても目的別に楽しめる奥深
さ、1回行けば必ずリピーター
になりますよ)

・ハワイで私がお世話になって
いる現地の人に言われた事は、
出身国は関係なくここは多民族
の集まりですよでした、現在の
人種構成は(白人41% フィリ
ッピン25% 日系23% ハワイ
アン21% 他13%)

*それでは日本人のハワイ移民

はいいつ頃からののか。

・1860年 福沢諭吉、J万
次郎を乗せた「咸臨丸」が寄港
この時カメハメハ4世から砂糖
キビ畑の労働力として移民要請
の親書が出された。

・1868年それ迄多くの中国
人が働いていたが金が貯まると
帰国したり、自分で商売をはじ
める等定着率が悪かった。その
頃日本は戊辰戦争のさなかだっ
たが幕府発行の許可書により149
人が横浜より出港約1ヶ月かけ
て6月19日ホノルル港に到着し
た。この人達がハワイ移民の先
駆者になった(明治元年にあた
るため元年者と呼ばれた――
2018年150周年式典実施)
その後、官、民間会社により移
民が行われ1908年には650
00人となった。

*砂糖キビ畑の作業は過酷を極
め現場監督から足で蹴られたり
ムチで殴られたり住まいも最低
の長屋であり名前前は呼ばれず
べて番号で呼ばれていた、結婚
相手も写真のみで決め夫婦にな
った(日本では見合い結婚もあ
ったが現地ではそのような風習
がなく人身売買と思われた)賃
金が日割で休めないの女性は

砂糖キビ畑で出産したり、兩カ
ッパは(ゴム製は価格が高いの
で)自分達でモスリンの生地
で作ったりした。移民奴隷のよ
うなものであった。同じ移民の
ポルトガル人は一戸建て住宅に
住み賃金も5割位良かった。こ
のような差別に対して激しく抵
抗し度々ストライキを行った。
(1900年まで数百件にのぼっ
た)第一次世界大戦の影響によ
りインフレ化が進み生活困窮の
ため1920年1月のストライ
キには全農民の77%が参加した。
その報復として1万人以上が農



(写真)砂糖キビ畑での移民達

園を退去させられた。その後農
園の日本人は70%から19%に激
減した。去った農民の受け皿の
一部としてハワイ島のコナの
コーヒ―農園などがあり1930
年代はコーヒ―農園の人口の51
%が日本人であった。

*1929年都道府県別 出身
者(ハワイ全体)総数35825
人1位 広島県9384人――
7位福島県1334人(会津地方
は不明)(東北では最多)

*太平洋戦争開戦(1941年
12月7日 日本海軍による真珠
湾攻撃)

・当時の日本人、日系人約16
万人、開戦と同時に 教師、
政府関係者、医師、宗教者等1
500名が逮捕、抑留された。

・1943年日系人による連隊
規模の部隊が編制されることに
なり部隊名は(442連隊)ハワ
イからは2600人募集に対し
6倍の応募があり定員も100
0人増となり本土収容所から8
000人を加え部隊が編制された。
442連隊は過酷な戦いをしい
られているヨーロッパ戦線に送
られ、ドイツ、イタリアを相手
に目覚ましい活躍をみせた、日

系2世はもとから(アメリカ人)と認識されている他の兵士と違い、自らがアメリカに忠誠を抱いている事を命を張って証明しなければならぬと考えて戦った。又隊員達は家族に不名誉の名はさせられない、家族が自分を恥じないようにしたいと考えて、アメリカ陸軍史上最強の部隊と呼ばれる程の活躍をした。

戦後連隊はアメリカ軍史上でもっとも多く勲章を受け、トルーマン大統領は「諸君は敵のみならず偏見とも戦い勝利した」と称えた。

*ダニエル・K・イノウエ国際空港(旧ホノルル国際空港)

ハワイの第一歩で空港の名前が変わっている事にアレッと思う人もいると思いますが、これは個人名で2017年に改称されたものです。

ダニエル・K・イノウエ氏は日系2世です、ハワイ大学在学中に太平洋戦争が勃発し442連隊に志願しヨーロッパ戦線で右腕を失い医者への道をあきらめました。終戦後政界に進出し1959年に下院議員に立候補し当選、米国の日系人議員となり1963年副大統領につぐNo.3

議長になった。2012年88歳で死去、遺体の棺はリンカーンやケネディ等全体でも32人しか安置されていない議事堂中央の広場に眠っています。(アジア系としては初めて)彼の功績を称え、国際空港への名称、ハイウエー、小学校等に名前がついています。

*最後に現在の楽園の島ハワイには日系移民の方々の血と汗と涙で築かれた歴史がある事を忘れたくないと思いましたが、尚歴史に触れたい場合は、ビショツプ博物館、日系会館等ハワイ州観光局、旅行会社等に問い合わせれば教えてくれます。

(参考資料)

ハワイ州観光局

ハワイ報知新聞

地理学会 飯田耕二郎

中公新書 矢口裕人

その他――



「コロナからの贈り物」

弓田 博

(昭和三十四年卒・新十一回)

私たち夫婦はお陰様で昨秋9月に結婚五十年、金婚を迎えることができました。

そこで、記念にゆったりとクルージング旅行でもと思い、インターネットで探してみた。某旅行会社の「全国夏祭り巡りと韓国11日間」が面白そうと説明会にも参加し、それにしようという事になった。東北四つの夏祭り、山形の「花笠」秋田の「竿灯」青森の「ねぶた」から仙台の「七夕」を巡って、

次いで四国徳島の「阿波踊り」に回って楽しんでから最後に「韓国」に渡って旨いものと観光と、なかなか豪華な船旅で大いに楽しみにしていた。

ところが、ところがである。一昨年の2月の報道に驚愕。横浜入港のクルージング船に我が

国最初の新型コロナ感染が発生とかそのうえ、船名が何と聞き覚えのある「ダイヤモンドプリンセス号」。ああ、万事休す、我々の金婚記念クルージングは夢と消えた。

さて、それでは何を代わりに

と思案していると、ふと、頭を掠めたことがある。

6年前に地元流山市のカルチャーセンターから声が掛かり、17年前に通し歩きで巡り、結願した「四国八十八ヶ所お遍路」の講演をさせていただいた。その会場でのVTR記録をされた、いたK出版のS社長さんから、「今日のお話は良かった。本にしてみませんか」と勧められたことを思い出した。S氏にお会いしてお話を伺い、氏の支援があれば自分にもできるかなと、金婚記念日を目標に1年がかりの挑戦を決断した。

毎夜、宿で記録した旅日記と道中折々に作り貯めた短歌を整理して、本は本編とスライド編の2部構成とすることに。苦戦の連続だったが無事完成。縁者に贈呈、お遍路の幸せをお分けして喜んで頂くことができました。思わぬ「コロナからの贈り物」となった。

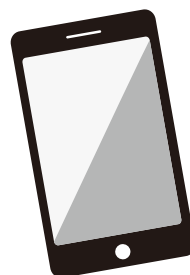
序に、この機にS氏のご協力を得て、VTRを再編集し、ネット(net)上のユーチューブ(You Tube)にもアップ(UP)することにした。

添付のQRコードからスマホで撮り込むと再生可能、是非ご

覧ください。また、宜しければご友人、お知り合いにもご紹介願えれば大変嬉しく思います。



遍路講演 VTR QRコード



地域最大級！あなたの近くの頼れる法律事務所

ときわ綜合法律事務所

- 初回相談(30分)無料！ ● 地元で20年以上の実績と信頼。
- 分野を問わずお気軽にご相談ください。 ● 所属弁護士11名
- 当日の相談、日曜の相談も対応できます。

TEL **047-367-5544** 〒271-0091 松戸市本町 18-4
NBF 松戸ビル 5F

交通至便！

JR 松戸駅西口 徒歩 1分 代表弁護士 小野光寛(昭和45年卒)

「老猫は死なず、
ただ消えゆくのみ」

上杉 敏男

(昭和三十四年卒・新十一回)

まだ夜も明けない午前三時半頃、小水は小生を催し、じやなかつた、小生は小水を催し、済ませた後、次室の猫小屋(小屋)につたつて、私が段ボールで作つたもの。下に電気あんかを敷いてある。覗くと奴が居ない。猫

(ミミ)がニヤアとこの世に生を賜つて二一年、俺と同じ頻尿かと察し、寒いのでまた布団に潜り込む。彼の用足し場所は玄関のそばの植木地面だ。居間のガラス戸とシャッターを工夫して外に出やすいようにしてある。四時半頃、また、トイレが我を呼ぶ。「またか、くそっ」と歯がみしつと終わつた後、小屋を見るが居ない、これは麦だと思ひ、冷風の中、玄関を開けて周りを見る。居ない。最近は玄関の近くが臭くてしゃあない。時々拾つてはトイレに流していった。が、まだ暗いので布団に戻つて、うとうとして五時起床。同刻半頃、ウオーキングがてら、周辺を詮索するも不明。私が早朝ウオーキングするのは夜十時

に寝るせいであり、毎日続けている。帰宅して嫁いだ娘に連絡(元々は娘の猫なんじゃから)。午後、娘も来て、周囲を探すも不明。ご近所の敷地に迷惑を掛けては、の気持ちから「猫に心当たりがあればご一報を」のお願い文を配る...

我が家にミミが家族の一員となつたのは平成一二年の秋頃だつた。この年、八月に妻を亡くし、十月には何となく落ち着きを取り戻していた。娘が猫を飼いたいと言ひだし、(以前、犬も年老いて亡くなり、悲しい思いをしたので動物は飼いたくなかつた。が、母を亡くした娘の気持ちを斟酌して)飼うことに。ミミは家に来た時は生まれて間もない、片手に入るほどの小ささだつた。二階の娘部屋で愛玩されていた。数ヶ月後には外で用足しできるようになり、二階から階段を上がり降りして娘んところに戻る。数年後よく小鳥、鳩、蝙蝠、トカゲ等啜えては娘にひけらかす。娘がそのたんびに悲鳴を上げててんやわんや。鳥のバタバタで部屋中、大小無数の羽で大雪が降り注ぐかのような事態も。そんなある



日、自転車か何かにつつかつて植木の中におびえているのを発見。様子がおかしいので病院に連れて行つて大腿骨折で入院手術。

その後、娘が嫁ぎ、ミミはおいらが面倒見ることに。その頃は母が一階、私は二階の部屋で起居。ミミはすぐには私に馴染まず、一人でいや一匹で娘の部屋で泰然自若の独居。いつだつたか、炬燵かテーブルでいたずらするので、怒つたら、奴め、俺にお尻を向けブルブルツとしたかと思つたら、おしっこ。顔にまともに食らつて...。これには俺も驚いたワイ。

平成二三年の東北地方大震災の時、私は富士五湖方面に車の旅で富士休暇村に連泊していた。その日は当休暇村も停電、夕食はあり合わせの物、お風呂にも入れずテレビも観れず。情報は車のラジオのみ。翌土曜日、予定を変更して帰途。途中、娘か

ら電話。「お父さんの家に行つたら物が落つこちていてミミが居ない」。帰宅後、あたりを調べると見つからず。小生、半分は「やれやれ、これで猫の世話も必要なくなつた、半分は「かわいそうになア、どこかに行つちまつたかア、南無阿弥陀仏...」。

近所の方が「犬は人に、猫は家に付くと言ひますがねえ」というお言葉。日曜日、午前中、どこからともなく細かい猫の鳴き声が...。耳を澄ますとどうも二階からのよう。二階に上がつて

キョロキョロすると天井裏のよう。それで、僕は半了解。実は天井板を五〇cmほど切つて天井裏に物を置いている。日常はそこは蓋をしてある。そう言えばその板がはずれている。そこから鳴いている方に目をやると、いやいや驚いた、ミミがうずくまっているじやアないの。どうやら天井板が地震でずれて?びつきりして本能的に天井裏に飛び込んでしまつたんやろか。

数年後、母の介護で一階の母部屋に寝泊まりするようになり、ミミも俺に懐くようになった。雨の日、濡れたまま俺の布に潜り込んできたときは参つたゾイ。母が老人福祉施設に移り、猫小

屋を作つてうつしミミはそこに寝泊まりに。

ある日、台所から、ドスンと言ひ鈍い音、何事ぞ、と駆けつけると、奴ア五徳を尻尾に巻き付けてフウフウ言つてるじやないの。実はこの世に生まれた時、尻尾がL字状に曲がつた。ガス台から飛び降りたとき、五徳も付いてきた模様。まあ、よく五徳にぶつつけられなかつたものよ。

娘夫婦と旦那様のお母さん四人で富山の立山黒部や金沢、おわら風の盆の三泊四日の旅行をした時だつた。ミミは動物預かり所をお願いした。帰宅して引き取りに行つたら「籠の戸を開けると、中から爪を立てた肉球がガーツと出てきて、食事を上げられませんでした」という弁以来、出かけてもミミがお留守番。二日分は食料を用意、三日以上の時は娘に来て貰つた。

最近は何年かして正常な歩き方ができないから、小屋に引きこもつて出かけることもない。だから、今回もそう遠くには行つてないはずだ。これはいよいよご臨終を迎えた行動か?しかし、このあたりは住宅地で、最近の家屋の軒下は猫が入れるように

はなっていない。猫を飼っていた仲間の猫は皆、室内で往生を遂げている。私も奴は室内と決めてかかっていた。幼猫の時、使用していた室内用猫砂を取り出し、準備していた。動けなくなったら介護がちよつと大変だなア、と懸念。が、なんのなんの、我が家のミミにゃんは俺に面倒掛けさせまい?として、令和四年一月十一日の午前三時半、やってくれたワイ。



野辺で死ぬことこそ猫道(ニャンどう)なり:と。二一年間のお付き合いだった。何も老いた不自由な身で、寒い冬に往かなくてもいいのに。ミミよ、安らかなれ。娘も私も涙しつ折らずにはいられない。

本能と、言わば言うべき猫の魂、迷わず遂げよ、老いし身なれば

「ビバー! 映画音楽 十」

上杉 敏男

(昭和三十四年卒・新十一回)

次は「ゴッドファザー・パートⅢ」。ファミリーを守ってきた主人公(アル・パチーノ)もイケル名で出演)も老境にさしかかり、バチカン銀行と大司教に接近して、非法ビジネスから合法ビジネスへ転換。重い病気にもかかわらず、ゴッドファザーの地位を甥っ子に譲渡。「ゴッド…」とはマフィアのボス又はファミリーのトップへの敬称であるが、本来はカトリックでの洗礼時の代父(名付け親)という意味だそうです。

さて、映画では、ゴッドファザー(役、アル・パチーノ)の一人息子もオペラ歌手として成功。長女も美しく成長。甥とは恋仲ではあったが:。某日、ゴッドファザーの地位を継がなかった息子のオペラ歌手のオペラデビューを迎える。別居中の女房(役、ダイアン・キートン)も戻ってきた。GFの地位も離れ、ようやく安心を得る。ところがその日、敵に襲われ、銃弾が誤って娘に当たってしまったから大変!。一部、二部でも絶

対に弱音を吐かず、沈着、冷静に事を運んできたマイケルが目もはばからず長女を抱きしめ、大声で泣き叫ぶ。そして数年後であろう、遠見でカメラはシチリア?の古い屋敷の庭を写り出す。と、そこに一人、椅子に腰掛けている白髪の呆けたような一人の老人。年老いたマイケルと分かる。そこにマシューの「カヴァレリア・ルステイカーナの間奏曲」が流れてくるんじや。(なるほど、ピットマンコじゃわいとおいらは思った)。美しい旋律の流れる中、椅子から崩れ落ちていくマイケル。さて、この映画の主題曲は「愛のテーマ」。重厚で哀愁のある映画音楽だ。作曲者はニーノ・ロータと言うイタリア人です。彼は映画音楽の神様みたいな御仁じや。映画「道、昭和二九年」、「太陽がいっぱい、同三五年」、「ロミオとジュリエット、同四三年」も彼の作品。どの音楽も素晴らしい。彼自身は「自分はクラシック音楽の作曲家であり、映画音楽は楽しみのために書いている」と言っていたそうだが、映画のラストのシーンではクラの「間奏曲」を使ったんじやね:。パートIが昭和四七年、パートIIが同四九

年、パートIIIが令和二年公開で、ここでもうやく、The End になった代物。若かった俳優達も映画の展開と共にお年を召してその役を演じてきた訳だ。監督はフランシス・フォード・コッポラ。銃弾で殺される長女役は監督の娘さんだそうです。そして、次がその監督による作品「地獄の黙示録」。映画が始まると、夜明けのシーンに、彼方からいくつかの攻撃用ヘリコプターが現れ、音楽が流れる。それがワーグナーの「ワルキューレの騎行」。成程、ここにこの音楽を使うのか、と俺。この監督は、クラを見事に使うんだなあと驚く。ただ、僕ア、この映画の内容はよく理解できない。映画のタイトル名は「アポカルプス・ナウ」。ネットで調べてみると「現代黙示録」と訳すんだそうです。黙示録とは、イエス・キリストの十二弟子の一人である使徒ヨハネが書いた霊の書で、聖書の最後に納められていて、世界の終末が預言された霊の啓示だそうです。何だかよく分からんと言うのが私の結論です。映画の中身も、ベトナム戦争時に秘密任務に赴く若い大尉を描いたもんなんじやが:。何

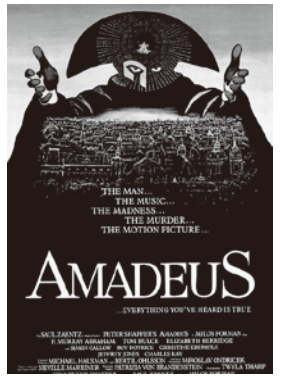
だか良く分かんね。ワルキューレとは北欧神話に登場する複数の半身を指し、「戦死者を選ぶ者」という意味を持つんだそうです。天馬にまたがり槍と盾を持ち、このワルキューレの騎行達が戦死した兵士の魂を岩山へ連れ帰る場面の前奏曲として流れるのがワルキューレの騎行だそうです。「ワル…」から始まるプロローグは劇的なんだけど、映画の内容が私にはいまいぢ何じやよ。だげんじよ、映画では、アカデミー撮影賞、音響賞、カンヌ国際映画祭賞、グランプリ賞等取っている。

【閑話休題】この同窓会報十九号での白井祥隆氏の「会津の映画館」を興味深く読ませて頂いた。貴殿はかなりの映画通です。ねえ。漫画家竹内つなよし若松二九連隊に入隊して居たとは知らなんだ。同氏による漫画「赤胴鈴の助」の記述で、僕ア、子供の頃の貸本屋のことを思い出しました。当時は貸本屋全盛時代。僕は常連の貸本屋を三カ所ばかり確保していた。本屋によつては借りたのが違うから「少年」、「冒険王」、「少年ブック」、「譚海」等々、みんな貸本

屋から借りて見た(読んだ)ものです。中でも、福井英一の柔道もの「イガグリくん」が面白かった。イガグリくんが終わって剣道もの「赤胴鈴の助」が始まり、「今度は剣道もんだ」と、楽しみにしてたら、しばらく経って、二回目から前記「竹内氏に代わった。他に手塚治も私も私ア愛読?してたよ。絵物語作家、山川惣治の「少年王者」も良かったなア(私はこれで、ターザン映画が好きになったんじゃ)。小松崎 茂の西部劇ものも思い出す。「少年」では読み物として江戸川乱歩の「怪人二十面相と少年探偵団」が掲載、わくわくして読んだ。以後、僕かア探偵ものが好きになって高木彬光や横溝正史だの、探偵もんを読むようになっていく(勿論、貸本屋)。この頃は名探偵が出てきて、難問を解決するという設定。江戸川は明智小五郎、高木なら神津恭介、横溝は金田一耕助なる名探偵が登場してピシャリと推理、解決するんじゃ。当時はイギリスの作家、コナン・ドイルのシャーロックホームズ名探偵の活躍する本の影響等もあったのかも…。(なんしろ、江戸川乱歩つつうのは、エドガ

ー・アラン・ポーなるアメリカの小説家の名前を拝借したそうですから)。若商卒業後、松本清張の、名探偵の出ない社会派小説「ゼロの焦点」で一気に、彼にのめり込んでいく。小説に出てくる石川県の「ヤセの断崖絶壁」まで行つたくらいだから。下を覗いて見たんじゃが、いやア、吸い込まれそうでおっかなかった。そう言えば幼年時代、自転車の紙芝居屋さんが近所に来てたっけ。何円か払つて人形館を買つて、黄金バットなる絵物語を聞いたなア。なんか骸骨の顔でハデな格好をしたおっかねえ絵だったことを思い出す。そう言えば、僕はコロソボ刑事のテレビが好きでした。最初から犯人が分かっている設定で、前記の「推理物」とは真逆の内容。犯人は有名人で「こんなヨレヨレのレインコートを着た薄汚い奴が俺を捕まえに来たのか、俺のトリックを見つけてみい」と馬鹿にするんですが、実は名うての刑事。犯人が最初の元気はどこへやら、次第に追い詰められて顔色を失っていく。その過程や良し。

次が「アマデウス」。とはモーツアルトのミドルネームのことです。アマデウスなる言葉は、「神に愛されるとか、神を愛する」とか言う意味だそうです。映画は天才モーツアルトの生涯を宮廷作曲家との対決を通して描いた映画。彼は三五歳の若さで亡くなり、死因に関しては暗殺では?といった様々な説があったそうです。この映画では、その一つを違った角度から捉え、謎解きして見せている。アカデミー賞の作品賞、監督賞、主演男優賞、等の八部門、他にも英国アカデミー賞、ゴールデングローブ賞、他にも受賞した。この映画は作曲家モーツァルの半生を描いたもの。だから、随所に彼の音楽が挿入されて、CDとは違った雰囲気で聴くことができて良かった。



最後に、日本映画から。日本物でもクラちゃんとの関連映画は一杯あるんやけど、ここで取り上げるのは映画「冬の華」。日本のヤクザ映画によくある、一家同士の「縄張り争い」とはひと味違ったフランス風?ヤクザ映画。ヤクザの掟で殺してしまつた相手には幼児の女の子が居た。その娘に叔父と偽って成長後も文通を続ける男。その男を演ずるのが高倉 健。成長後の娘を池上季実子が演じた。ヤクザ映画の中でもこれは見応えがあった。監督が降旗康男、脚本が倉本聰だから良い訳だ。彼女からの便りにチャイコフスキーのことが記されている。ある日、某喫茶店でウェイターにその曲を流してくれるよう頼む。彼女が「今掛かっている曲がそうですよ」と返答されるシーン。それがチャイコフスキー、ピアノコンチェルト(協奏曲一番、変口単調)。僕もこの音楽は好きですよ。別にクロード・ド・リが映画の主題曲を担当している哀調を帯びたギター曲に乾杯です。



昭和35年3月卒業後、50年振り(昭和三十五年卒 新十二回)に平成21年10月に、母校、若商高を訪れる事にしました。仙台在住の穴沢正行さん、埼玉在住の青木茂男さん、そして水戸在住の私と3人で、18歳で卒業後それぞれの職場で頑張り、幹事交替制で懇親会を北関東東北を中心に毎年実施してきました。平成21年は、私の幹事の順番で卒業して丁度50年の節目でもあり、しばらく振りに地元会津東山温泉で懇親会を開き、そして翌日は、若商校を訪れる事としました。私達3人は、1年生から3年生まで、確か2階の「26教室」で「珠算」の練習で、楽しい時間を過ごしました。3年生の夏休みには、文科系部活で、初めて合宿練習で、「県大会で優勝して東京での全国大会に出場しよう!!」と、大目標を掲げ、練習に明け暮れた事も思い出されます。結果として、3人1チームの合計得点が、ライバル校平商校に、わずから5点の差で優勝する

「50年振りに、
母校、若商校を訪れる」
青木 啓二

事が出来ました。平商校を率いる松崎先生が、大きな心で、若商校の優勝を飲んでくれた事に、涙、涙だった想いでした。

東山温泉での懇親会の翌日は、午前 時の約束で、学校を訪れました。校長室に案内して頂き、昔話に花を咲かせた後、校長先生から校舎を案内して頂き、そして、授業中の教室を見学させて頂きました。学校風景は、女子学生が男子学生を上廻り、授業の形態も2人の先生で対応し、生徒からも元気なあいさつを受け感激した想いがあります。

今回の母校訪問に際しては、会津在住の元校長・二瓶哲さん、齋藤共子さんにも大変お世話になりました。この学校訪問から約1年半後に「東日本大震災」となり、それぞれ被害を受け、3人の懇親会も最後になってしまいました。私達3人も昨年「80歳」となりました。私も3年前入院生活、そして現在は、月1〜2回の通院生活、今後、若商会の総会そして懇親会に参加できるかわかりませんが、今後共、盛会になるよう祈っております。



「会津の地名の由来」

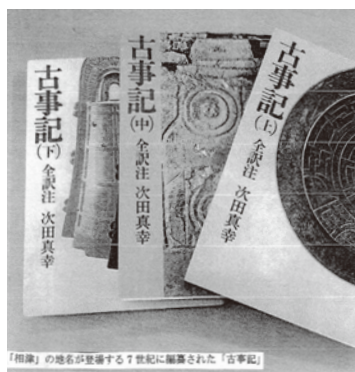
（昭和三十七年卒・新十四回） 鈴木 稔

私は昭和18年会津で生まれ、若松商業を卒業するまでの18年間、会津で過ごした。しかし、会津のことは、観光でPRされていること以外は、全く知らない。そこで、私は会津の歴史をさらに、ひもといてみた。まず初めに、私が生まれた会津の地名はどのようにして出来たのか調べた。会津の地名の由来は諸説ある。

一つは『古事記』第10代崇神天皇（すじんてんのう）のくだりにある四道將軍物語（四方の経営に4人の將軍を派遣したという物語）を、そのまま地名説話として受け入れてきている。4人の將軍のうち、大彦命（おほひこのみこと）は高志国（越国）すなわち北陸方面に、その子の建沼河別命（たてぬかわわけのみこと）は東国に派遣された。2人の將軍は、それぞれの経営の仕事を終えて、大彦命は越後（新潟）方面から、また、建沼河別命は常陸（茨城）方面から、この会津の地にすすみ、ここで出会った。そこで劇的な

親子の出会いを記念して「相津」（会津と叫ぶ）ということがある。これは神話上のできごとで実際にこうだった將軍が実在したのか判明していない。しかし、世界的に神話上の物語は実際にあった歴史的事実を反映していると考えられており、会津地域が早い段階で大和朝廷下にあったと考えられる。また、当時の人たちが奈良からどういったルートで会津にやってきたか想像も膨らむ。

二つ目は、たぐさんの川が集う場所、という意味で「相の津」が語源ではないか、という説だ。実際に会津盆地にはたぐさんの川が流れ込む。尾瀬から只見川、南会津町から大川、猪苗代湖から日橋川、飯豊山から押切川と、会津盆地の東西南北からいくつもの川が会津盆地中心部に向かって下っている。そして、やが



「相津」の地名が登場する『古事記』に編纂された「古事記」

て川は合流して阿賀野川という一本の川となり、越後山脈を越えて日本海に流れ込んでいる。会津では、すべての水が一つに落ち合う。それらは時として大洪水となり、会津全域を湖のようにしてしまうこともあった。ふだんも随所に大きな沼や湖をおこして、大きな沼の国、湖の国のような景観をみせていた。会津という地名はそのようなことからおこったと言われている。会津・大沼・河沼、すべて大きな水のおつまり・たまりにもとづいて名づけられた、という説だ。



会津地方の水系図

福島県の自治体

芳賀清喜税理士事務所

税理士 芳賀 清喜 昭和48年卒(新25回)

〒169-0075 新宿区高田馬場 4-10-8 HIKビル 202

TEL・FAX 03-3365-5933

業務内容

税務・経営相談・決算・申告・税務代理・その他税務一般



会津を流れる只見川

以上、この二つの説がもっとも有力である。私は風光明媚な自慢の故郷、会津を思い浮かべ「会津の地名の由来」に想いを巡らしてロマンに浸っている。

「思い出の修学旅行」

室井 軍三

(昭和三十九年卒・新十六回)

今から59年前、私たちは高校2年生でした。待ちに待った修学旅行、旅行が近くなると心がウキウキ勉強も手につかないありさま。修学旅行列車で上野につき、バスで横浜に向かう。バスは第二京浜国道に入り、ガイド

さんは出来て間もない立派な国道を説明し、当時流行っていたフランク永井の夜霧の第二国道を歌いながら「♪つらい恋なら♪♪浮かぶ夜霧のあゝ第二国道」横浜に向かう時間も夕方になり、綺麗なネオンが目につかぶ、川崎近くに来ると京浜工業地帯の煙突の上から真っ赤な火と煙が飛び出しているのを見てビツクリ。

宿泊の氷川丸(宿泊船)へ到着 横浜円山公園近くで、夜は風紀が悪いので外出禁止、騒ぎながら船内一泊、(現在ならこのような宿泊施設は消防法令上の基準を満たしておらず宿泊の許可は下りないと思う)

次の日、京都に向かう。見学もせずに旅館に着く、風呂は2年1組から入るようにと回覧が

回ってきた。私は2年2組、まして室井のムなので最後尾になってしまふ。ちよつと失敬して1組の初めの人と一緒に入ってしまった。風呂には一般人の方も入っており会話などをして楽しく旅の疲れをほぐした。

風呂を上がって1時間後に事件は起きた。一緒に風呂に入った1組の大竹君のお金が無くなつたと大騒ぎ、その時一緒に入ったのは誰と誰だと先生に尋ねられ、2組からは私と他3名計4名ですと回答。一緒に入った人、全員2階の部屋に集まれと号令がかかり10名ほど集まった。

2組がなぜ一番乗りで風呂に入ったのかと先生に問われ、私は親から男は風呂には一番に入るものだと言われて育ってきたと言ったら、先生は怖い顔をしてなにも言わなかった。

その後1時間ほど説教を受け集まった全員に外出禁止令が出た。外出のできない修学旅行つまらない!

身からだて錆とあきらめる。次の朝、大竹君の金が出てきたと言う話を耳にしたので早速本人にどこにあったのと尋ねると母親が盗まれないようにとポケットに縫い付けたのが解けてお

金は背中の方に回っていたとの事。

大竹君に、言つてやった「馬鹿野郎!俺たちはお前のせいだ」とんでもない犠牲になったんだぞ」でも有つてよかった。無かつたら一番の重要参考人の私が今でも疑われているかと思うとゾゾとする。(先生からは楽しい修学旅行の外出を禁止され、また大竹君の金が出てきたことも何の説明もなかった)京都、奈良と素晴らしい神社仏閣を見学し、思い出深い楽しい修学旅行でした。



奈良公園で撮った鹿の写真 (題名: 静けさ) が旅行の写真展で入選、学校で暫く掲示板に展示されました。

「心ほっこり 荻野駅」

長谷川 のり子

(昭和四十一年卒・新十八回)

コロナというウイルスが日本上陸する前の秋の日、ご先祖様の墓参りに行くことになり磐越西線新津行きに乗り、久しく無人駅と聞いていた駅で女性の方が切符を受け取ってくれました。改札口を出るとビツクリ! 買い物しようと思つていたお店のシヤッターが降りていて「えっ! お花買えない!」と思わず声が出てしまいました。「お店は止めてしまったのよ」と駅の方が教えて下さり、ここ数年は車で来ていたので駅前には通らないでいた為知らずにいました。都会は日々変化を目にしていますが、故郷も変わることに感じ、持参した線香だけでも手向けようと歩きかけた時、「ちよつと待つて!」と5分程過ぎた頃に、手にコスモスの花と2ℓのペットボトルを抱えて「花は庭にあるもので

水は水道水だからどうぞこれでお墓参りをして来て下さい」と、「ありがとう! ございます」お言葉に甘えて、2ℓの水とお花を頂き、20分程の坂道をゆつくり登り、ご先祖様に心温まる心遣いの報告と感謝を伝え墓地进行しました。後日再会の時には東京土産を持ってお会い出来るのを楽しみにしてありますが、今日、まだ行くこと叶わずにいます。思いがけない親切! 私も出来るかなあ! と思つてます。



人々に感動を与え、新しい生活の喜びを創出します



愛和電気 株式会社
代表取締役社長 伊藤 秀一

〒252-0815 神奈川県藤沢市石川 2-26-21
TEL : 0466-86-6181 FAX : 0466-86-6182・6183
http : //www.aiwa-elec.co.jp/

「わがふるさとと湊町、
今がすごい」

渡部 静

(昭和四十四年卒・新二十一回)

私の故郷は会津若松市湊町静湯字切の草。

猪苗代湖の崎川浜に徒歩で五分とかからないところの13軒の小さな農村部落です。

一応会津若松市とはなっていますが市内には約二十キロメートルあり、ちょっと離れています。

東山温泉の山(背炙り山)を一山超えると湊町。そんな山と湖(猪苗代湖)に挟まれた国道294線

沿いの田園の広がったところで。切の草はその国道から又さらに猪苗代湖のほうに約3キロ

はいったところにあります。自家用車のなかった昔は若松の町

まで行くには国道まで出てバスに約1時間乗る、電車は通って

おらず若松駅まで行かないと乗れません。そんな関係で私は小

学校6年の修学旅行の新潟に行ったときに初めて汽車に乗ったものでした。冬になると当時は

雪が結構積り玄関から外に出るのに雪の階段を作って外にで

となります。現在は雪も少なく道路はいつでも車が通れるようになります。

私が子供のころは湊町には中学校が二校、小学校が四地区それぞれにありましたが今現在は

子供の人数も減り統合され小学校は中学校と同じ一校となり、

私の通っていた双湯小学校は現在廃校になっています。古い傾

きかけた廃校の前を通るときはなんとも寂しさを感じます。

小学校に入学したころは学校内で購買部という組織があり、

そこで学校で使う文房具とかを売っていました。若商の若商デ

パートと似たようなものです。しかし目的は全く違い近くに店

がなかったからです。若い頃はそんな田舎で誇れる

ものなど何もないと思っていました。こちらに出てきてからよく

「出身はどこですか」と聞かれ「会津若松です」と答えれば必ず「いいところですね」と返

れても誇って答えられます。

そんな湊町では今「NPO法人みんなと湊まちづくりネットワ

ーク」という組織が活動していることを数年前の湊中同窓会参

加の時紹介がありました。その中の「湊町まちづくりサ

ポーター」に参加募集があったので参加しています。

特典としてスマートフォンで「みなとアプリ」をとおして湊

町の活動、出来事等の情報がリアルタイムで見られます。「み

なとアプリ」を通じていろんな活動の情報が入ってきます。例

を挙げると私の兄嫁が児童相手に語り部をやっている様子がユ

ーチューブで見られたりしてとても驚いています。この「NPO

法人みんなと湊まちづくりネットワーク」は他の自治体から注

目され問い合わせ、訪問が相次いでいるようです。



「私と漫画と手塚治虫」

白井 祥隆

(昭和四十四年卒・新二十一回)

私は若松商業高等学校へ入学する以前からとにかく「漫画」

を描くのが大好きで入学試験の合格発表当日も試験勉強から開

放された喜びで漫画を描いていくくらいです。何故そんなに好

きになったかというところ小学3年生の頃に月刊少年雑誌「少年画

報」の連載漫画「スーパー太平記」と出会ったからでした。未

来からタイムマシンで江戸時代へやって来た科学者家族が赤ち

やんを置き去りにした所から物語が始まり、やがてこの子が平

賀源内やエジソンのように奇想天外な機械の発明をして江戸の

町を救うという壮大なストーリーに夢中になったのです。

当時は「赤胴鈴之助」という時代漫画や東映の時代劇映画が

大人気であり、いきなり未来科学漫画と時代漫画を組み合わせ

電子部品 & マイコン
GR-SAKURAボード

組み込み、研究開発、
教材用に最適・
マイコンボード

株式会社 **若松通商**
〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-15-16
秋葉原ラジオ会館 5 階
TEL03-3251-4121 (代) FAX03-3257-0086

<https://wakamatsu.co.jp/waka/>

写真とカメラ **サイトウ**
齋藤写真館・写真館 さくら

本店
会津若松市栄町6-15 TEL 0242-24-0567

坂下店 (リオン・ドール坂下店内) TEL 0242-83-4404
齋藤写真館 会津若松市栄町 6-15 TEL 0242-24-0567
写真館さくら 会津若松市町北町始字北台 107-1 TEL 0242-37-1223

うのがきつかけでした。この漫画を描いていたのがあの「鉄腕アトム」の作者「手塚治虫」先生でした。もう中学生の頃から将来の夢は手塚治虫のような漫画家になる事で「マンガ家入門」という本を参考に全力で創作に励むようになっていました。

そんな訳で高校の3年間は友人たちと漫画研究会活動にひたすら夢中、「COM」という月刊雑誌も創刊され、ますます拍車がかかりましたがプロへの道はそれほど簡単ではなくやがて卒業、現実へ引き戻され昭和44年の春に地元金融機関へ就職しました。

入行当時は世の中全体が高度成長へ向かってまっしぐら、その後時代も大きく変化、仕事に追われた生活にふと気がつく和平成も10年目となり漫画は研究会の仲間たちと趣味として描くものとなっていました。そんな折、何とあの大好きで憧れていた手塚治虫氏が「スーパード平記」を連載していた頃に私たちの住む会津を訪れていた事を知りました。専属のアシスタントが笹川ひろし氏という会津若松出身の方であり、昭和34年4月初旬に1週間の予定でその故郷



である会津へ初めて旅行としてやってきていたのです。笹川氏も漆器業の傍ら、子どもの頃の私と同じ様に手塚漫画に出会い憧れて描き上げた120ページもの漫画作品を手塚氏へ送り批評をお願いしたことがきっかけで、認められ上京しプロの世界へ飛び込んでいたのです。

この昭和34年当時、私たちと同じ様に「会津漫画研究会」というプロを目指す同好会があり、会長だった神明通りの「白井画廊」のオーナー白井義夫氏から手塚治虫氏との交流や来若当時のエピソードを教えていただきました。大切に保存され残されていた当時の写真や色紙、原画等をもとに検証する本を作ることにになり、平成12年4月に私たちの漫画研究会で自費出版したのです。

昭和34年に入ると少年週刊誌時代が到来し、手塚氏も「少年サンデー」の創刊に合わせ初の

週刊連載がスタート。この初来若時に宿泊滞在先であった東山温泉「原滝別館」にて会津を舞台にした18ページの漫画をお描きになっていきます。この年の秋には手塚氏が結婚、いよいよTVアニメや漫画も超多忙な時代となり、地方へ旅行で1週間も滞在する事など全く許されない為、この会津旅行は宝塚育ちの手塚氏にとって第二の故郷のようなお気に入りの場所となったようです。

その後も漫画家たちとの旅行や家族旅行にも自ら「会津」を選ばれて大いに会津の良さを広めて下さいました。この検証本は知られざる手塚治虫の足跡として評判となり全国のファンからも購入申し込みが多く寄せられ手塚プロダクション公認の書籍といえるまでになりました。この本を参考に平成26年にはJ



R東日本の新幹線車内誌「トランベール」が「会津を愛した僕らの手塚治虫先生」という特集を組み60万部発行されました。これを知った会津若松市も企画展「手塚治虫と会津」を実施、加えて高速バスのラッピングや会津全域でのスタンプラリーも開催されました。また市内18箇所各々に手塚氏の歩いた名所の解説パネルを設置しそのガイドブックも作り直したので

「会津観光ガイド」の新たな切り口として現在もお役に立っているようです。(図参照)

日本の漫画・アニメを文化にまで育て上げ、世界中へ広げた天才漫画家・手塚治虫と会津の絆を本として制作できたことは私のような「漫画」が大好きな人間にとって生涯忘れられないものとなりました。わずかですがまだ在庫がありますので同窓生の皆様の中で、興味があればご連絡いただければと思います。

(090-1497-0822・白井まで)



当社は未来の笑顔を創り出します



建設コンサルタント・補償コンサルタント
株式会社 森エンジニアリング

代表取締役 森 末廣
専務取締役 森 桂子 (旧姓 小早川・昭和46年卒)

本社：群馬県桐生市広沢町6丁目256-1
TEL 0277-40-2621 FAX 0277-40-2630
東京支店：東京都台東区東上野3-26-10 ファーストコート201号室
TEL 03-5812-6911 FAX 03-5812-6912
各支店：太田・京都・大阪
各営業所：新潟・福島・佐野・足利・兵庫・三重・奈良・金沢・福岡

<http://www.mori-eng.co.jp/>



お客様に役立つサポートを提供します。

玉川助市税理士事務所

所長 玉川助市 (昭和45年卒)

〒965-0005
福島県会津若松市一箕町大字亀賀字郷之原 384 番地 3

TEL (0242) 24-7938

FAX (0242) 23-1625

「ん？骨折の自慢話?！」

三浦 新治

(昭和四十四年卒・新二十一回)

1回目：中学2年時の

背炙り山

現在は閉鎖の背炙り山スキー場に出かけた。眼下に猪苗代湖が見えるグレンデで楽しんだ後、知人のいる東山温泉宿で入浴するため、早めに切り上げて麓に向かって山道を滑走中に転倒。脚部に激痛が走り骨折と直感しつつも、先行して姿の見えないスキーの上手な友達を追いかけるように、痛くない脚に重心をかけて滑る。しかし痛みに耐えず転倒。起き上がって滑っては転倒を繰り返したが、限界。心配した友人が戻ってきてくれた。行先は温泉宿ではなく、病院だった。

2回目：若商生1年時の

柔道場

私の若商在学中には男子は体育の授業のほかに、武道の時間があった。剣道と柔道のいずれか選ぶ。背が低いと重心が低く安定感があるので柔道が最適、との噂を信じて柔道を選択。講師はかの有名な青木五郎先生。

基本は受け身とのことで最初のころは結構やらされた。勝ち抜き戦で2、3人倒した記憶があったので受診すると、骨折して曲がった状態でくっつきつあるとの診断。受け身のやり過ぎなのか骨折の瞬間に記憶なし。

3回目：職場対抗野球大会

宮城県北部任地での事。地元選出代議士の大臣就任を記念した野球大会があった。職場チームの一員として参加。監督のサインで2塁ベースに滑り込んだ時、激痛が走りそのまま入院。スライディングが未熟でスパイクの爪が引っかかったのが原因。職場に迷惑をかけたほか、姉の結婚式写真が撮れず残念無念。

4回目：春うららの

湯河原梅園

コロナがニュースになり始めた令和2年2月、地元ボランテニア仲間と湯河原へ。お酒と温泉を味わった翌日、山一面満開となった梅林を堪能した。梅園の下り坂を軽快に小走り中に足首を捻った。痛みをこらえつつ、その後の行程を楽しみ終え地元に戻る。そして病院に直行。捻

挫ではなく足の平の一部が折れているのがレントゲンに写っていた。

世の中2度あることは3度あるかもしれないが、4度目の骨折があるとは我ながらビックリ。これ以上はしないと願いたいけどうなることや。骨折経験者連絡有れ。骨折談義しましょ。また楽しからずや。

「♪ここに幸あり♪」

〜人生の先輩の働く姿に学ぶ〜

本名 喜久造

(昭和四十五年卒・新二十二回)

『ここに幸あり』は昭和の時代の歌謡曲です。「大津美子」の歌で知られています。私たち年代の結婚式(披露宴)でもよく歌われていたような…。聴けば

生きる力を感じる(Happyな楽曲なので私は、今でも好きな懐メロの一つです。私がまだ会社勤めをしていた時のお話で失礼します。(今から6〜7年前)

実は、我が社のビルの清掃の木村サン(70歳前後の方)の持ち歌の一つなのです。何故そんなことを知っているかと言うと、

早期いつも木村サンと一緒にいるのです。私は毎朝7時チョイ過ぎには出社しています。オフィスの掃除も早朝なので知り合いの仲なのです。ビルの清掃の方も勤務時間が長いのですよ。

木村サンは、とつても元気で笑顔が絶えず事のない明るい方です。しばらくすると大型の業務用掃除機をかけながら軽く鼻歌が始まります。ある時、私が「木村サン！今歌っている歌は何という曲？」すると木村サンは「ここに幸あり♪ですよ。いつもこの歌をうたっているのよ。」とニコニコ顔。多少の辛い事があってもこの鼻歌で元気を取り戻しているとのこと。

木村サンのご主人は紳士服の仕立屋(自営業)だったが40歳台の若さで亡くなりました。その後しばらく奥さん(木村サン)は某デパートの紳士服関連売り場で働いたがその仕事の先行きを見通して退職。お家には娘さんとお婿さんとの同居であることもあり、間もなく今の仕事に就いたそうです。木村サン曰く『一家に主婦は二人いらないう。』との考えから今に至るまで元気に働いておられます。当ビルの最上階のテナントさんは業

種柄元日しか休まない会社。木村サンは清掃員のリーダーなのでほとんど休みなく働いているそうです。本当に「ご苦労さまです。木村サン。いつまでも若々しく明るく元気でそして『ここに幸あれ』を活力にして私達のオフィスを守ってください。(彼女の働く姿を見習いたいものです)

その後しばらく経ってから、木村サンは担当替(担当のビルが変わる)との情報を得ました。木村サンの最終日、事前に用意した御礼品(ハンドタオルセット)をお渡ししようとしたがどんなに待っても姿を見せなかつた。結局お渡しできず、今でもそのタオルは私が大事に使っている次第です…。木村サン！お元気ですか〜お会いしてお話したいです。(終)

♪ここに幸あり♪

嵐も吹けば 雨も降る

女の道よ なぜ険し

君を頼りに 私は生きる

ここに幸あり 青い空

(一番のみ)



私の会津自慢

「私のふるさと自慢」

中野 善次

(昭和三十年卒・新七回)

(1) 「塔のへつり」の雪化粧
「塔のへつり」については、12(2014)に掲載しましたが、今年(2022)は数年ぶりに雪の多い年になり、へつりの奇岩は素晴らしい雪化粧の姿を見せてくれました。

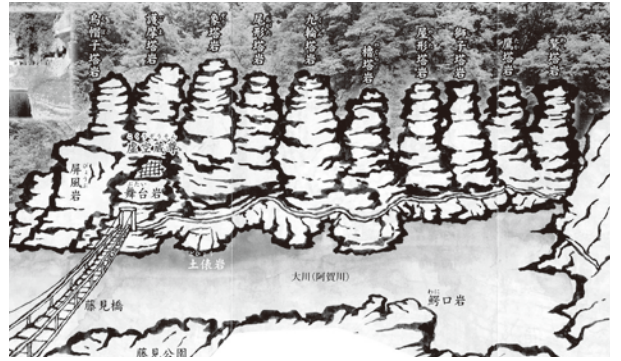
奇岩の処に行くには、阿賀野川(大川)にかかる、つり橋「藤見橋」を渡ります。

正面の岩穴には「虚空蔵菩薩」が祀られています。

奇岩の名前は岩の特徴で付いています。

上段左から、烏帽子塔岩、護摩塔岩、象塔岩、尾形塔岩、九輪塔岩、櫓塔岩、屋形塔岩、獅子塔岩、鷹塔岩、鷲塔岩が並び、下段左から屏風岩、土俵岩そして、水際近くには、鰐口岩で数種のイメージ豊かな名前が付いています。

売店のある展望台からの眺めは歴史が創り出すロマンでもあ



ります。

私が低学年であった頃は、「塔のへつり」全体を藤見公園と呼び、遠足に行つたことが脳裏に浮かんできます。

「塔のへつり」は、「国指天然記念物」であり、昭和18年8月24日選定されております。

(2) 「はいっと」

他人の家に入るときは簡単な掛け声で挨拶は必ずです。ひと昔前までは、はきもの靴、げた・ぞうり)を脱ぐまでの挨拶が「はいっと」です。はきものを脱ぐまでは、庭や玄関があり、今では懐かしい言葉になりました。

(3) 「大根かじり祭り」

この儀式は、「お頭屋渡し」の儀であり、下郷町成岡の集落にある「北野神社」の祭礼で、一年頭屋神主制で継承され、江戸中期から現在の形で行われている。

北野神社の祭礼は旧暦9月19日、生の大根三本、頭屋から氏子へと順番に回すことをする儀式であります。

かじると息災で呪力がつくという珍しい祭りである。



(4) 鏡ヶ沼の大蛇伝説

南倉沢集落の漁師が鏡ヶ沼のほとりを通りかかったとき、沼に差し出た木の股に白いものが見えた。その日は不祥であったため、その白いものを鉄砲で打ったところ命中した。・・・大蛇に化け沼の中に消えてしまった。漁師は不吉な予感があったので、鉄砲打ちをやめてしまった。



大森林道駐車場から 徒歩約1時間

静まりかえった沼に自分の姿を映したら大蛇が見える? スリル満点です。

(5) 「会津地鶏」

会津固有種の地鶏であり、もともとは鑑賞用で飼われていました。しっかりと引き締まった肉は歯ごたえがあり、卵は人気がある食材です。



「花の競演・日中線 シダレ桜並木」〜今年の約束

酒井 繁

(昭和三十一年卒・新八回)

去る2月24日(木)、故郷の実家に電話をしたら、近年にない降雪で屋敷周りの積雪は二階の高さまであり大変とのこと。私は幼少の頃、二階の屋根からスキーをしたことを思い出す。冬来たりなば春遠からずで、雪深い会津にも春の息吹は巡り来る。電話口で「今年は是非とも行くぞ。」と云えば、「コロナに負けずに来い。酒、着付き宿泊無料で待っているぞ。」と弟の弁。アハッア、ハッアの笑いで幸せ。

東北エリアの桜の名所として一位に弘前城、二位に三春の滝桜は有名だが、標記の桜並木はこれらに引けを取らない。喜多方駅から国道495号線沿いに徒歩約5〜8分の所に位置し、我が故郷の観光スポットの一つとして自慢出来る。

桜並木は廃線となった国鉄日中線の跡地を自転車歩行者道として整備したもので、全長約3キロにわたって約1000本のシダレザクラが植栽され、福島

県屈指の壮大なスケールの桜の名所となっている。桜並木の中心までのS.L広場には、1974年まで走っていたC11型63号機蒸気機関車が展示されている。

弟の話では、今年は雪が深いので桜の開花が少し遅れるのではないかとのこと。花の見頃は4月下旬頃か。楽しみである。加えて、JR只見線の復元開通で会津里山の奥座敷に香る新緑とよしの桜を鑑賞しつつ、田子倉湖と同ダム周辺にも足を延ばしたい。これで二つの楽しみが約束出来た。

「団子さし」

室井 軍三

(昭和三十九年卒・新十六回)

今年の新暦2月1日は旧暦の正月元旦にあたり、我が家の団子さしは2月15日、旧暦1月15日に執り行った。

私が子供のころの正月は旧暦で執り行われ、団子さしも家々が競ってお飾りを行っておりました。

大黒柱には、大きなミズの木(団子の木を結わいつけ、そのほかの柱には少し小さめの木を

結わえて団子を丸め、家畜、農作物、大判小判、打ち出の小槌、鯛などを作りあげたものを大きななべで茹で上げ、引き上げた団子を大きなうちわで扇ぐ、扇ぐと団子に艶がでて光沢が出てくる。

それを家族で団子の木に見栄え良く挿し、更にバランスはとれているかなどをチェックし完成。

団子さしのいわれについては、「五穀豊穡、家内安全、無病息災、商売繁盛」の願いが込められているそうです。

団子挿しになくってはならないのはミズの木(団子の木)、ミズの木は入手が困難ですが、先輩の佐藤順昭さんが、私が出から伐ってきて送ってやるからと、太鼓判を押していただきひと安心。

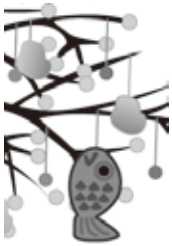
最近ではご家庭で行う方はいくつか少ないのではないのでしょうか、東京ではもしかしたら私家、1軒だけかもしれません。

広がってしな垂れる枝々に色とりどりの団子とお飾りを取り付け揺れる様子は、何とも綺麗で気持ち華やきます。

会津下郷では団子のゆで汁は捨てずに大きなヤカンに入れ翌



朝、藁などを打つ槌ん棒の取っ手を紐でしばり、自宅の周りや田地田畑を槌ん棒を引きながら「槌ん棒の踊りだーながもしやくんやよー(へび)もぐらもつしやおこすなよー(モグラ)」と大きな声でうたいながら団子の汁を撒きながら周り歩く、柿の木や、杏の木の前では「今年が良い実をつけるか、つけないか、つけないやナタでぶったきるぞー」と声をかけると別な人が「つけます、つけます」と言つと、ヨオーシと言つて、その木に団子汁をかけてやる豊作祈願の儀式であった。



「十日市」

三浦 新治

(昭和四十四年卒・新二十一回)

ふるさと会津を離れて早いものでもう50年以上が経つ。生活の拠点であった故郷をふと想った。今日は正月の十日。ふるさとで一月十日といえは『十日市』である。

幼いころは親に連れられて、大きくなってからは友人と出かけた。会津若松市のメインストリートである神明通りや大町通りなどで交通を遮断して多くの出店が軒を並べていた。圧雪されたつるつるの足元を気にしながら歩いたのを思い出す。この日一日だけの、初売り。店頭には起き上がり小法師、飴などの縁起物や日用雑貨、漆器などの伝統工芸品や飲食店が立ち並ぶ会津の新年の風物詩である。寒い中、心身ともに温まる、当時珍しかった「肉まん」をフーフーしながら食べながら歩いた思い出がある。

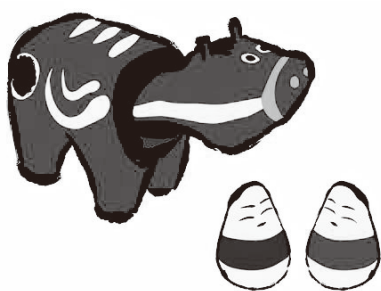
調べてみると、十日市は全国各地あちこちにあるようだ。

- ① 10日ごとの市。
- ② 10のつく日の市。
- ③ 一月十日の市。

ふるさとの十日市は年1回だけの新春の市であるが故に記憶に残る。

福島県隣接の新潟県に十日市という人口5万弱の都市があるが、都市の名称は、その昔、毎月十日に市が開かれていたことに由来すること。十日市ということばの響きに親しみを覚える。

年に何度かご先祖さまの墓参等で帰省する機会はあるが、冬場厳冬のふるさと行きはまずない。半世紀以上この身による十日市散策の体験がない。記憶が徐々に薄れつつあるが、今もこの『十日市』は開かれているようなので、今後も継続して開催されることを期待し来年は歩いてみたい。



同期会報告

「昭和三十九年卒『三九会』」

同期のさくら」

坂井 徹夫

(昭和四十年卒・新十七回)

我ら昭和二十一年、二十二年生まれ。昭和繁栄時代の幕開けと共に競争時代に生き抜いてきた団塊世代の先導組。戦後復興期から高度成長期、安定成長期を経てそして失われた三十年と現在に至る。あつという間に五十余年の歳月が流れた。卒業後まもなく三年二組の古侯泰雄先生クラス仲間の同級会がS君を中心に発足。S君の実家「割烹料亭新たつた」で会を重ねる。古侯先生「ご夫妻への感謝祝賀会」などを重ねその後先生は晩年仏門に入られ会津美里町の住職になられた。関東地区ではK君を世話人として同期会が並行して発足、しばらく続くが途中K君の体調不調もあり現在はS君が承継。会津若松出身者が経営する大正ロマンの香り匂うサロン表参道「港イマス」で定期的に年二回開催中。同時に会津地

元でも定期的に昭和三十九年度卒「三九会」名称で同期会が活発に開催されている。発足以来I君が(地元米穀店)代表として二年ごと東山温泉と裏磐梯観光ホテルで趣向をこらし交互に開催、まさに「同期のさくら」の花盛り(満開)。「三九会」の同期会は毎回参加者の入れ替わりはあるものの五十名前後の参加者、猪苗代出身の同期生「会津の民話語り部」、鈴木清孝君の登場などにより毎回盛り上がり以後定番となり会を重ねる。その「三九会」同期会もそれぞれ皆さんご高齢となり平成二八年一〇月八日「磐梯檜原湖畔ホテル」で最後の紅白の幕引きとなりました。あらためて永年世話人のI君始め会を支えてくれた地元有志の世話人の方々に感謝申し上げます次第です。そんな中で東京若商同窓会の役員根本等君、久家明夫君が毎回同窓会への加入勧誘に奮闘していたのが印象に残る。我々の世代は同級会が活発、自分自身小中学校の同級会も含めると年3回以上の行事が重なる。今、振り返ると懐かしい言葉が聞こえなくなるのが寂しい。毎回お決まりの世話人挨拶で始まり乾

杯の首頭と続く。「え、皆様お久しぶりでした：。いずれの方々もご健勝で再会できました事ご同慶の至りです」定番の言葉が我が頭の中にしみついている。その後自己紹介が始まりそれぞれ顔が高校時代に戻る。また、自己紹介も歳を重ねることに長くなり周りも酔い回りが早くワイワイガヤガヤの状態聞いている人はいない。しかし最後の古希同期会は特別の思いもあった。特にS君との再会を楽しみにしていたが2か月前にご逝去されたとの訃報を聞きショックであった。同期の仲間もあつという間にその年代になってしまった。最後となった「三九会」の挨拶は一人一人挨拶するもそれぞれ自分だけの人生を一生懸命生きてきた証しが顔全体ににじみ出ているのがよく見える。タコ坊主のかた、白髪のかた、顔に刻まれた深いシワも年輪を感じさせている。それぞれが味わいのある顔だ。女性の方も話し方に実感深みが滲み出ている。今回最初にして最後に初めて参加したM君、しみじみと自身の元に戻ることのできない波乱万丈の人生談、胸に詰まる思い。そして世話人



若松商業高校昭和39年度卒業同期会 425.10.8 於 磐梯松原温泉ホテル

から最後の幕引きとなる挨拶、再会の祈念ではなくお互いの長寿健康の祈念挨拶、寂しさ感じさせるお別れの挨拶で散会となる。今、若商での「学びの期間」が終わり「働く期間」も終わり同期会に参加した人も人によ

てさまざまであった。積極的な人、消極的な人、無感動な人など集まってみれば皆お互い刺激し合い、啓発し合い同級ということ価値観を共有していたように思われる。ときにはライバルとなり、良き友、良き仲間であり助け合いもあった。我々団

塊世代の先導組はいよいよ後期高齢者の域に達した。「散り桜」が始まった。しかし人生百年「さくら吹雪」にはまだまだ遠い。

一生青春・一生感動！

昭和三十九年卒「同期の桜」仲間に乾杯。

それでも母校は百十周年、東京若商会も九十年延々と発展し後輩も頑張り続けている。関東地区同期生の仲間と同窓会に加わ入されていない方、今後唯一故郷の便り香りが残る「東京若商会」には非積極的に参加してほしい。東京若商会バンザイ！

「関西への修学旅行思い出」バスガイドさんの祇園小唄に感動！他の名所史跡見学は記憶にない。 筆者



「懐かしき友」

近藤 美千代

(昭和四十四年卒・新二十一回)

私達は、ニクラスの教室を歩き来しながら、三年間を過ごした。

交代で歌詞を黒板に書いて下校し、翌朝大きな声で毎日のように、皆で声高らかに合唱したものだった。

お昼時間、休み時間にはお互いの教室を行ったり来たり、そんな三年間を過ごして、それぞれの道に分かれた私達。

気がつけば、何時の間にか還暦！ そうとなれば！と奮闘二ヶ月、ようやく総勢五十三名の還暦祝いの集いとなった。

「うわあ、元気だったあ〜」
「今、何してるの？」 「ちっとも変わらないね〜」
「孫が居るんだからさあ、もうお婆ちゃんだわ」 「みんな同じよ！ 同い歳じゃない？」
「あはは」 「ところで、〇〇ちゃん、来ないの？ どうしたの？」
「旦那様と、旅行だったって」
「へえ、いいなあ」 「ちょっと〇〇先生は亡くなってしまったんだって」

「優しい先生だったよねえ」

「そうそう 小柄でさあ 本当に懐かしいねえ」「そうだねえ」還暦とは思えない都会組みが、それぞれに相槌を打った。

「それにさあ あの先生に言われた事、今でも覚えてる『どんなに忙しくても、口紅だけは忘れない事ですよ』って」

「私はね、『男を選ぶなら、肩幅広く胸厚く、腰はすんなり柳腰の人を選びなさい』って」

「へ〜 それで、そういう人選んだの？」
「ううん、みんな逆だったの〜」

「あは〜 私達は、そのような他愛も無い会話に笑いあった。そして、還暦の再会から、数年毎に集まりを続けていた。

ある時、都内で開催された集いに、北海道からの彼女の姿！ 私達は、それまで考えてもいなかったのに、思わず口走ってしまった。
「ねえ〇〇ちゃんは北海道から来たのだから 今度は行ける人だけで、北海道に行ってみない？」
「うん、いいね〜」 「行ける人だけで行こう！」 「そうそう そうしよう」

国内は勿論、海外旅行にも旅慣れしている彼女が手配してく

れた。

そしてこうして総勢十二名、初蝉の声が聞こえて来そうな初夏、私達は三泊四日の格安ツアーで、彼女に会いに北海道へと飛んで行った。

ホテル送迎バスの車窓から見える広大な畑、ビートの葉が風にそよぎ、かすかに葉音が聞こえるような気がした。やがてホテルには笑顔の彼女が待つて居てくれた。夕食会場では、懐かしい会話で満腹になるほどのお喋りが続き、入浴しても、部屋に戻っても延々と続くのだから、それぞれに目が回ってしまいました。

翌朝、帯広に出かけた私達、市内を散策し、野草園では列を組み、声高らかに合唱して歩いた。その日の万歩計は何と一万三千歩！
翌日は二組に分かれ、それぞれの北海道を楽しんだ。
そしてその晩は一室に集まり、二次会を満喫した。
翌日、私達は再会を約束して、見送る彼女に別れを告げ一路空港へ、そしてまたそれぞれの地へ帰った。

それから暫くして古希の集いを迎え、今度は会津に二十七名が集った。

今は、数年ごとの集いがコロナの影響で延期となったままだけれど、いつか又必ず、懐かしい集いを実現したいと、昔の乙女達は心から願っているのです。



設計・施工 店舗・住宅家具一式
ユニケルエネ株式会社



代表 佐藤順昭

本社 〒121-0815 東京都足立区島根 2-32-21-502
TEL/FAX : 03-3850-1354

工場 〒382-0123 栃木県栃木市川原田町 1041-2
TEL : 0282-24-4831 FAX : 0282-24-4830

会津営業所 〒969-5204 南会津郡下郷町弥五島字中の内 365
TEL : 0241-67-2362

同好会便り

同好会は、会員相互の親睦を深め「気軽に参加できる同窓会」との趣旨のもとに2003年に発足し、以来同好会とも世話人の熱心な計画推進によって順調に軌道に乗り、多数の会員の参加を得て大変楽しく盛会裡に開催されています。

各同好会は、その都度世話人を選んで同好の士を誘ってゆく方法で運営しており、入退会は自由です。是非ともさらなる会員多数の入会及び参加をお待ちしています。ご家族・友人の参加も歓迎です。

「東京若商会ホームページ」に楽しい写真満載で同好会の活動状況を紹介するとともに、同好会活動のルール(ガイドライン)や入会のお手引きを掲載していますので是非覗いてみてください。

入会希望連絡先

●ゴルフ同好会
 国府 義次(新十六回)
 TEL 042-373-0544

●名所旧跡巡り同好会
 相田 誠次(新十回)
 TEL/FAX 045-911-7443

●旅行同好会
 三浦 新治(新二十一回)
 TEL 047-449-4563
 ●文化芸能鑑賞同好会
 五十嵐 健(新二十七回)
 TEL 090-9795-7539

同好会報告

「ゴルフ同好会報告」

渡邊治男さん優勝

国府 義次
 (昭和三十九年卒・新十六回)

松山英樹選手、マスターズ、優勝おめでとございます。

2021年4月11日オーガスタ・ナショナルGCで日本男子初のメジャー制覇を果たされました。早朝5時前から起きてテレビにかじりついて見ました。三日目に65のスコアで優勝を確信しました。感動を、ありがとうございます。それから10日後の4月22日に第二十三回コンペを八王子市の武蔵野ゴルフで実施しました。天気、快晴です。練習場に移動するが満席でした。受付で混雑

内容を探ねると「コロナ禍でも屋外スポーツとして女子ゴルフアールの方中心に増加しています」と等と回答あり。練習は諦めてスタートの順番待ちをする。
 優勝された渡邊さん、ロングホールでパー・プレーが複数あり午後後も確実にまとめられました。



◆入賞の方は次の通り◆

【成績】	敬称略	卒年	グロス	ネット
優勝	渡邊 治男	S35卒		79
準優勝	伊藤 秀子	-		81
三位	鈴木 誠	S43卒		82
バスグロ	伊藤 秀一	S49卒	94	-

新規会員募集中です。

一緒にプレーしましょう。
 次回開催は令和4年4月に予定しています。

世話人・青山 典 (昭34年卒)

国府 義次 (昭39年卒)

室井 初男 (昭43年卒)

東京若商

ホームページ紹介

東京若商会では、会員と若商在校生相互の友誼を深める場として、ホームページを設けています。

東京若商会の案内や情景、またゴルフ・旅行・名所旧跡巡りなどの同好会活動、母校部活動の最新情報など活動状況をお知らせして、より親しみをもちてもらい、気軽に参加しやすい会にするための一助になることを願っていますので、覗いてみてください。

また、若商高ホームページともリンクをさせていて、母校の情報にも触れることができます。皆さんからも、新たな情報やご意見がありましたら、ホームページ内のEメールでお知らせください。ホームページアドレスは下記参照してください。

会計監査報告書

福島県立若松商業高等学校同窓会・東京支部
 令和3年度東京若商会 一般会計及び特別会計

上記会計決算報告書について、収入・支出及び関係書類を監査致しましたところ、相違なく正当に執行されていることを認めます。

福島県立若松商業高等学校同窓会 東京支部
 東京若商会

会長 本名 喜久造 殿 監事 芳賀 勇
 令和4年4月10日 監事 芳賀 清喜



東京若商会

東京若商会のホームページによろそ!

ゴルフ同好会・旅行同好会・名所旧跡巡り同好会・文化芸能鑑賞同好会などの情報も

<https://wakamatsu.co.jp/wakasho/>

「東京若商会」でも開くことができます。ネット上に校歌、応援歌が流れております。

《令和3年度会費納入者ご芳名》(掲載対象納入期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(敬称略)

寄付・年会費のご納入ありがとうございました。3月末日振込分迄を掲載させていただきました。
掲載漏れや間違いがありましたら、ご連絡下さい。未納の方は同封の払込票にて納入をお願いいたします。

東京若商会事務局
TEL03-5754-3040
FAX03-3748-6102

【旧商29(S18卒)】 津國 慶三、 【4回(S27卒)】 東崎 進、荒明 昌雄、遠藤 明男、小森 茂、 高木 満雄、芳賀 三良、三橋 孝 【5回(S28卒)】 佐瀬 善彦、舟田 邦一、阿部 三代司 【6回(S29卒)】 穴澤 達、鈴木 公毅、星 政広、吉成 正四 【7回(S30卒)】 飯田 清蔵、上田 昌源、小山 文美、 中野 善次、沼田 正夫、安川 均、 和田山 清一 【8回(S31卒)】 酒井 繁、佐藤 順昭 【9回(S32卒)】 伊藤 重記、小山 告男、佐々木 誠、 原田 幸喜 【10回(S33卒)】 相田 誠次、市村 健次、小島 博、 佐藤 光輝、杉原 光男、竹俣 幸造、橋本 亮 【11回(S34卒)】 青山 典、五十嵐 正吉、上杉 敏男、 木村 英二、松川 源郎、矢島 義則、弓田 博 【12回(S35卒)】 青木 啓二、青木 茂男、大川原 和彦、 押部 源彦、小淵 紀子、吉津 友弘、 橋浦 節子、日下 義章、黒澤 光子、佐藤 秀、 佐藤 幸子、佐藤 俊一、渡辺 治男、 田付 良雄、根本 喜久雄、坂内 幸英、 藤田 誠、古田 イチ子 【13回(S36卒)】 植木 紘一、鹿目 義孝、小林 豊、鈴木 昭一、 渡部 和義	【14回(S37卒)】 宇月 康男、佐藤 幸雄、鈴木 稔、林 惣一、 山田 一郎、雪下 正栄 【15回(S38卒)】 田崎 規夫、芳賀 勇、本名 義光、吉川 大八、 渡辺 明弘、渡部 武よし 【16回(S39卒)】 五十嵐 和雄、板橋 良寛、国府 義次、 馬場 浩、室井 軍三、好川 裕晴、遠藤 輝雄、 岸 英雄 【17回(S40卒)】 大堀 芳作、奥野 武雄、久家 明夫、 斎藤 正志、坂井 徹夫、佐瀬 宏、根本 等、 横山 邦彦、斎藤 昇 【18回(S41卒)】 荒川 静子、池田 和雄、兼子 亨、川島 森夫、 中山 三枝子、成田 トミ子、根本 政弘、 長谷川 のり子、星 實、村木 隆蔵、室井 広子 【19回(S42卒)】 中島 陽子 【20回(S43卒)】 川副 隆、鈴木 誠、高橋 清憲、長谷川 哲雄、 室井 初男、森田 明男、山口 常雄、 渡辺 美喜子 【21回(S44卒)】 池田 俊子、菅野 由美子、佐藤 峰雄、 星 留男、三浦 新治、山田 積次、渡部 静 【22回(S45卒)】 阿部 清功、石川 美智子、伊藤 美子、 宇内 節子、小野 光寛、亀井 美津子、 國分 公二、酒井 美代子、阪谷 サヨ子、 佐藤 泰久、長谷川 誠二、本名 喜久造、 武藤 勝文、目黒 博雄、柳橋 治、長谷川 進、 川原田 富雄	【23回(S46卒)】 木村 利男、宮田 とよ子、森 桂子、六角 秀行 【25回(S48卒)】 小林 謙二、穴戸 賢輔、芳賀 清喜、 松本 新一、横田 裕一 【26回(S49卒)】 伊藤 秀一、大塚 泰義、吉田 玲子、 塩原 雄司、小樽山 健 【27回(S50卒)】 五十嵐 健、芋川 正親、根本 文昭、森 珠子、 渡部 佐吉、山中 さつ子 【30回(S53卒)】 大町 富江、林 龍一 【31回(S54卒)】 五十嵐 仁、牧野 隆司、大日方 和代 【32回(S55卒)】 鈴木 弘子 【33回(S56卒)】 小林 伸行、根本 美希、渡邊 信郎、 渡邊 伯子 【34回(S57卒)】 上田 悦子 【37回(S60卒)】 一ノ瀬 正志 【38回(S61卒)】 齋藤 治男 【40回(S63卒)】 佐藤 英幸、佐藤 健司 【41回(H01卒)】 齋藤 仁史 【66回(H26卒)】 森田 優也
--	--	---

(合計 175名)

〈令和3年度 寄付者名〉

納入期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

8千円	S35年卒	田付 良雄、渡辺 治男	大川原 和彦
5千円	S46年卒	森 桂子	
4千円	S60年卒	齋藤 治男	
3千円	S27年卒	遠藤 明男	
2千円	S34年卒	矢島 義則、S49年卒	塩原 雄司

令和3年度東京若商会一般会計決算報告

福島県立若松商業高等学校同窓会・東京支部

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

(収入の部) (単位：円)

科目	決算額	予算額	予算比増減	摘要
総会会費	0	730,000	△730,000	中止
年度会費	350,000	300,000	50,000	175名×2000円
本部交付金	200,000	200,000	0	
寄付金	40,000	120,000	△80,000	会員寄付8件
雑収入	66,008	65,000	1,008	会報広告料14社名刺12
小計	656,008	1,415,000	△758,992	
前年度繰越金	992,152	992,152	0	
合計	1,648,160	2,407,152	△758,992	

(支出の部) (単位：円)

科目	決算額	予算額	予算比増減	摘要
総会会費	155,103	1,081,000	△925,897	総会中止の案内状等
通信事務費	48,977	80,000	△31,023	郵送代・消耗品・通信費等
交通費	0	150,000	△150,000	
会報出版費	222,003	250,000	△27,997	会報の印刷・原簿郵送代等
会議費	18,879	30,000	△11,121	総会等打合せ 上野精養軒
交際費	0	40,000	△40,000	
雑費	0	10,000	△10,000	
小計	444,962	1,641,000	△1,196,038	
次年度へ繰越金	1,203,198	766,152	437,046	
合計	1,648,160	2,407,152	△758,992	

繰越金及び収入・支出合計	前年度繰越金	収入合計	支出合計	次年度へ繰越金
	992,152	656,008	444,962	1,203,198

令和4年度東京若商会一般会計予算書

福島県立若松商業高等学校同窓会・東京支部

自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月31日

(収入の部) (単位：円)

科目	前年度決算額	予算額	前年度決算比	摘要
前年度繰越金	992,152	1,203,198	211,046	
総会会費	0	730,000	730,000	総会出席者男80名、女15名見込
年度会費	350,000	340,000	△10,000	2000円、170名で見込
本部交付金	200,000	200,000	0	例年実績
寄付金	40,000	120,000	80,000	ご来賓15名見込
雑収入	66,008	65,000	△1,008	会報広告料ほか会員寄付
合計	1,648,160	2,658,198	1,010,038	

(支出の部) (単位：円)

科目	前年度決算額	予算額	前年度決算比	摘要
総会会費	155,103	1,137,600	982,497	上野精養軒ほか総会案内に際わる経費
通信事務費	48,977	106,700	57,723	アンケート調査に際する印刷・郵送代含む
交通費	0	150,000	150,000	例年実績本部役員会参加費
会報出版費	222,003	175,400	△46,603	会報第20号発行と関連費
会議費	18,879	30,000	11,121	役員会、三役会ほか
交際費	0	30,000	30,000	他校同窓会参加ほか
雑費	0	10,000	10,000	どの科目にも属さない場合
小計	449,962	1,639,700	1,194,738	
次年度繰越金	1,203,198	1,018,498	△184,700	
合計	1,648,160	2,658,198	1,010,038	

繰越金及び収入・支出合計	前年度繰越金	収入合計	支出合計	次年度へ繰越金
	1,203,198	1,455,000	1,639,700	1,018,498

本名 喜久造 (ほんな きくぞう)

同窓会東京支部東京若商会 会長
(昭和45年卒業・新22回) 大沼郡昭和村出身
公益財団法人会津学生寮、
一般社団法人緑内障プレント・ネットワーク各監事
〒337-0006 さいたま市見沼区島町150-3
電話 090-7188-2012

- 趣味 名所旧跡・温泉巡り
- 自慢 市民ランナー・フルマラソン以上158回完走
- 好きな歌 「負けないで」(ZARD)
- 好きな言葉 「順境おごらず、逆境法まず」

絆・友情、いたわり、思いやり…楽しくやりましょう!

三浦 新治

東京若商会
副会長
旅行同好会世話人

新21回生(昭和44年卒) 千葉県船橋市 在住
城西小→若松四中 会津若松市出身
E-Mail miurah2604@jk9.so-net.ne.jp
☎ 080-3423-1007

五十嵐 健

東京若商会幹事長
(昭和50年卒業・新27回)
(いがらしつよし) 会津美里町(会津高田町)出身

【現職】 大田区大森生活福祉課
資産調査員

- 趣味 ゴルフ、健康ボウリング、温泉巡り、晩酌
- 目標 1日 8,000歩、早歩き20分、階段上り200段
- 好きな言葉 仁義・誠実・思いやり・感謝

同窓会東京支部(東京若商会)

副幹事長 小林 謙二

(昭和48年卒業・新25回) 会津若松市出身

〒154-0011 東京都世田谷区上馬
1-15-22~201号
電話:090-2911-7393
Eメール: aizu-k.kenji@ezweb.ne.jp



東京若商会 (昭和34年卒業・新11回)
猪苗代町出身

青山 典

〒344-0066 埼玉県春日部市豊町 5-14-10
・TEL 048-754-8876 ・090-2322-7508
e-mail: a1940@poem.ocn.ne.jp

※卒業後小売業に入り
創業者の薫陶を受け30年間勤務50歳でコンサルタント
として独立 HC、DgS、専門店のコンサル活動
モットーは
「お客様第一」「変化対応」「儲かる店づくり」

《卒業生》優先入社歓迎します 計3名 (令和3年現在)

同窓会東京支部 東京若商会
(昭和49年卒業 スキー部) 若松四中出身

愛和電気株式会社

代表取締役 伊藤 秀一

Eメール: ito@aiwa-elec.co.jp

〒252-0815 神奈川県藤沢市石川2丁目26番21
0466-86-6181

酒井 繁

同窓会東京支部
東京若商会 常任顧問
(昭和31年卒業・新8回)

〒240-0033
横浜市保土ヶ谷区境木本町 13-8

(元)日本公認会計士協会監事
(元)日本公認会計士協会東京会会長
(エリア・関信越1都9県)
(現)公益財団法人ボーイスカウト日本連盟参与(元)監事
(現)日本ボーイスカウト神奈川連盟参与(元)監事
趣味: 海外旅行等野外活動 座右の銘: 備えよ常に

山田 積次

同窓会東京支部(東京若商会)
副会長兼広報委員長
(昭和44年卒業・新21回) 猪苗代町出身

〒401-0042 茨城県龍ヶ崎市長山 5-4-13
電話: 090-2211-0630
Eメール: qqqs9929@air.ocn.ne.jp



WATANABE LIESENBERG
TAX ACCOUNTANTS' CORPORATION

税理士法人渡邊リーゼンバーグ

所属税理士 渡部佐吉

〒106-0041 港区麻布台2-4-5
TEL 03-3433-2200

電子部品のことなら

株式会社 若松通商

<https://wakamatsu.co.jp/waka/>

室井 軍三
S39年卒 (新16回)

電子部品の専門店



Wakamatsu
ELECTRONICS

<https://wakamatsu.co.jp/waka/>



株式会社 若松通商

S41年卒 (新18回) 室井 広子

若商昭和43年卒 鈴木 誠

福島県立若松商業高等学校 校歌

柳沢 健 作詞
細川 碧 作曲

緑変わらぬ若松の
名も香ばしく萌え出でて
百有余年の星霜に
礎固く棟高き
われ等の母校商業校

朝日射すごと清らかに
昼日照るごと朗らかに
夕日入るごと静かなる
月日を送り今日に逢ふ
われ等の誇り尽きぬかな

誠の心明らけく
正しく直き心根を
われ等の武器に取り持ちて
平和の裡に闘はん
栄の勝利は身にあらん

雲に聳ゆる磐梯の
高き理想を胸に抱き
瀬の音清き大川の
澄める流れを身にまとい
いざ守りたてんわが校を



目次



会報第20号の発刊を祝して

東京若商会会長 本名 喜久造	1
近況報告 若商同窓会会長 齋藤 共子	2
111年の歴史と伝統 学校長 佐藤 京治	2
幹事長レポート No.3 五十嵐 健	3
老いの眩き 元校長 菱沼 孝	4
日本経済の衰退を憂う 恩師 石井 義次	4
コロナ禍の中での近況 恩師 北田 キヌ子	5
わが里・猪苗代自慢(今あらためてこの地の豊かさを想う) 鈴木 清孝	5

【会報20号記念特集】

会報創刊号を振り返る 広報委員会	6
会報発刊時の思い出 室井 軍三	6

【みんなの広場】

遠い昔と近頃の相違 荒明 昌雄	6
試練の時代を乗り越える 飯田 清藏	7
静 寂 小山 文美	7

『コロナ発生』から二年経過

猪俣 信儀	7
コロナ禍の生活 芳賀 勇	8
私の会津暮らし 五十嵐 和雄	8
腰痛再発 山田 積次	8
2022(令和4)年2月吉日 本名 喜久造	9
コロナ禍における近況 小林 謙二	9
コロナ禍における近況～地域に貢献～ 根本 文昭	9

近況について 五十嵐 健	10
民謡 会津磐梯山 根本 美希	10

【特別企画】

若商創立百周年記念のころ 恩師 二瓶 哲	11
-------------------------	----

【自由投稿】

故郷が舞台となった名曲 鈴木 公毅	12
『Hi show me』何故・どうして・対策は? 酒井 繁	12
待ち惚け 杉原 光男	13
日本人は世界で一番『ハワイ』が好き 青山 典	14
コロナからの贈り物 弓田 博	15

老猫は死なず、ただ消えゆくのみ

上杉 敏男	16
ビバ!映画音楽 十 上杉 敏男	17
50年振りに、母校、若商校を訪れる 青木 啓二	18
会津の地名の由来 鈴木 稔	19
思い出の修学旅行 室井 軍三	20
心ほっこり 荻野駅 長谷川 のり子	20
わがふるさと湊町、今がすごい 渡部 静	21
私と漫画と手塚治虫 白井 祥隆	21
ん?骨折の自慢話?! 三浦 新治	23
♪ ここに幸あり ♪ ～人生の先輩の働く姿に学ぶ 本名 喜久造	23

【私の会津自慢】

私のふるさと自慢 中野 善次	24
花の競演・日中線 シダレ桜並木 ～今年の約束 酒井 繁	24
団子さし 室井 軍三	25
十日市 三浦 新治	25

【同期会報告】

昭和三九年卒「三九会」同期のさくら 坂井 徹夫	26
懐かしき友 近藤 美千代	27
同好会便り/入会希望連絡先	28

【同好会報告】

ゴルフ同好会報告 渡邊治男さん優勝 国府 義次	28
東京若商会ホームページ紹介/同監査報告書	28
会費納入者ご芳名/寄付者名	29
令和3年度東京若商会一般会計決算報告	29
令和4年度東京若商会一般会計予算書	29
名刺広告	30
目次	31
令和3年度会務活動実績	32
令和4年度会務活動計画(案)	32
お悔み申し上げます	32
編集後記	32

令和三(2021)年度
会務活動実績

《令和三年》

4月3日(土) 第1回ネット三役会議 8名
4月11日(日) 2021年度会計監査「高田馬場、芳賀清喜事務所にて」

4月17日(土) 第二回ネット役員会議
4月22日(木) ゴルフ同好会「武蔵野ゴルフクラブ」10名参加

5月22日(土) 本部同窓会総会 於「ルネッサンス中の島」【中止】

5月29日(土) 総会延期のお知らせ・3年度予算等・会報・会費納入依頼発送(場所:貸会議室(さいたま市岩槻会場))

6月12日(土) 定期総会延期
6月13日(日) ネット三役会議

7月17日(土) ネット三役会議
8月28日(土) 第3回ネット役員会議

9月11日(土) 10月総会「中止お知らせ」下期計画・年会費未納者へのリマインド

10月9日(土) 母校創立110周年記念式典 於「本校第一体育館」【中止】

10月21日(木) 東京若商会第92回総会(兼懇親会)【中止】
11月13日(土) ネット三役会議

12月4日(土) 役員会議(忘年会) 場所:上野精養軒 22名参加
《令和四年》
2月5日(土) 役員会議【中止】↓ネット三役会議に変更
2月26日(土) 文化芸能を楽しむ会(同好会)【中止】

3月26日(土) 名所旧跡巡り(同好会)【中止】
《令和四年》
4月2日(土) 第一回役員会(総会準備)、第2回広報委員会等 於「上野精養軒」
4月10日(日) 会計監査 芳賀勇・芳賀清喜両幹事 於「高田馬場事務所」
4月20日(水) ゴルフ同好会 於「紫カントリー」
5月21日(土) 本部同窓会総会 於「ルネッサンス中の島」【中止】

令和四(2022)年度
会務活動計画(案)

《令和四年》
4月2日(土) 第一回役員会(総会準備)、第2回広報委員会等 於「上野精養軒」
4月10日(日) 会計監査 芳賀勇・芳賀清喜両幹事 於「高田馬場事務所」
4月20日(水) ゴルフ同好会 於「紫カントリー」
5月21日(土) 本部同窓会総会 於「ルネッサンス中の島」【中止】

6月18日(土) 三役会議(正副会長、正副幹事長、常任顧問)
7月9日(土) 第2回役員会(総会準備) 於「上野精養軒」
7月23日(土) 総会案内状等発送作業 於「岩槻会場」
8月20日(土) 総会出欠締切日
8月27日(土) 総会直前準備作業 於「岩槻会場」
9月4日(日) 令和4年度総会 於「上野精養軒」
時間10時30分〜15時00分
②時間は繰り上げもあり
10月1日(土) 第3回役員会「総会の反省会」
10月8日(土) 本校創立110周年記念式典 於「会津若松・母校」
10月下旬〜11月中旬頃 (仮)東京若商会役員・旅行同好会合同秋季旅行会
11月5日(土) 文化芸能鑑賞同好会 寄席を楽しむ会 於「国立演芸場」
11月19日(土) 三役会議(正副会長、正副幹事長、常任顧問)
12月3日(土) 第4回役員会・忘年会 於「上野精養軒」
12月中旬予定 会報第21号原稿寄稿依頼発信

《令和五年》
2月11日(土) 第5回役員会・新年会
3月下旬頃 名所旧跡巡り同好会

■令和四年度 役員構成
会長 本名喜久造 新二十二回
副会長 室井初男 新二十回
" 山田積次 新二十一回
" 三浦新治 新二十一回
" 池田俊子 新二十一回
幹事長 五十嵐健 新二十七回
副幹事長 鈴木誠 新二十回
" 小林謙二 新二十五回
監事 芳賀勇 新十五回
" 芳賀清喜 新二十五回
" 酒井美代子 新二十二回
" 吉田玲子 新二十六回
" 渡部佐吉 新二十七回
学年幹事 24人
顧問 10人
相談役 1人

お悔やみ申し上げます
◎山内正和(昭和三十年卒)
◎土橋 晃(昭和三十年卒)
◎遠山保男(昭和三十年卒)
◎吉木文江(昭和五十一年卒)
ご逝去されました。
心よりお悔やみ申し上げます。

「編集後記」

会報20号記念号をお届けします。コロナウィルスの拡大に伴う何度かの「緊急事態宣言」「蔓延防止措置」の適用、さらには変異株、オミクロン株の出現と新たな「蔓延防止措置」の適用、そして3回目のワクチン接種、介護施設等での高齢者の感染拡大など、いろいろな事もありましたが、ようやく3月21日に「蔓延防止措置」が解除されました。

この2年間はコロナウィルス関連のものが新聞や雑誌、テレビなどで毎日報道されました。この由々しき期間中にお亡くなりになった会員の方にはお悔み申し上げます。

さて、コロナウィルス(オミクロン株)の報道の最中、2月24日には、ロシアがウクライナに侵攻しました。戦争を始めたのです。この21世紀に大掛かりな戦争を始めるとは考えられませんが、同窓会は政治には関与しません。平和を前提として会活動は進められるもので、本当に遺憾に思います。同窓会は会員の皆様の相互の協力で成り立っています。

今号は、会報発刊20号記念として、当時発行に苦労された元会長さんに当時のエピソードなどお願いし、記録として残すことにしました。また、前号からの「みんなの広場」「特別企画」テーマこれだけは絶対お伝えしたいこと」のコーナーや「自由投稿」「私の会津自慢」にたくさんの方の寄稿を頂きました。今後とも会報の充実を図るために皆様方からの掲載内容や特集などに対してのご意見をお待ちしております。

なお、2022年6月の総会は9月4日に延期になりました。

総会では皆様のお元氣な姿に会えることを願っています。

広報委員長 山田 積次